

2024 年度

# 環境経営レポート

【取組期間】 大梅工場、生コン工場、俵内工場

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

上台工場、業務（資材・リース）、堀川工場

2025 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

## くらしの応援業

発行日：2025 年 6 月 27 日

改訂日：2026 年 1 月 13 日

 株式会社 シーズ

大梅工場	〒963-6145	福島県東白川郡棚倉町大字大梅字段河内 303-23
生コン工場	〒963-5683	福島県東白川郡棚倉町大字下山本字松並平 34-8
俵内工場	〒963-6146	福島県東白川郡棚倉町大字戸中字高内 186-6
上台工場	〒963-6114	福島県東白川郡棚倉町大字上台行人塚 51-3
業務（資材・リース）	〒963-6101	福島県東白川郡棚倉町大字堤字塚田 60-3
堀川工場	〒963-6131	福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字堀川 15-270

## 目次

1.	環境経営方針 .....	1
2.	会社概要 .....	2
3.	環境経営システムの実施体制図及び役割・責任・権限表 .....	8
4.	環境経営目標 .....	10
5.	環境経営計画（暫定期間） .....	16
6.	環境経営計画の取組内容と実施結果の評価 .....	22
7.	環境活動計画の実績とその評価 .....	28
8.	環境経営目標の実績と達成率を踏まえた評価 .....	34
9.	環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無 .....	41
10.	代表者の全体評価及び見直し .....	42
11.	今年度の評価を踏まえた次年度環境経営目標及び環境経営計画 .....	43

## 環境経営方針

### <基本理念>

株式会社シーズは、産業廃棄物収集運搬・中間処理事業等の活動を通じて、地球環境の保全、地域との共生により環境負荷軽減に取り組めます。

社員一人一人が、お客様や地域を大切にす企業として、環境資源の有効活用のもと環境保全と持続可能な地域づくりを目指し、環境経営システムを構築し、実施・運用して、継続的改善を行うことで資源の再生を図り、循環型社会の構築に努めます。

### <行動指針>

事業活動を通じて環境関連法規を遵守します。

1. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出削減に取り組めます。
2. 受託産業廃棄物の収集・運搬・中間処理による分別の徹底と再資源化を図ります。
3. 水資源の有効利用を図り、節水に取り組めます。
4. 環境に配慮した製品の製造・販売により環境保全に努めます。
5. 地域貢献活動を通して、環境整備に努めます。
6. 環境に配慮した企業からの製品の調達に努めます。
7. 化学物質使用量の削減に取り組めます。
8. SDGs（持続可能な開発目標）を意識した行動に努め、環境問題に取り組んでいきます。

この活動を全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷低減に取り組んでいくことを誓います。

制定日：2022年8月19日  
改定日：2022年11月18日  
改定日：2023年9月22日  
改定日：2024年4月1日

株式会社 **シーズ**

代表取締役 益子清志

## 2. 会社概要

### 1 名称及び代表者名

株式会社 シーズ

代表取締役 益子清志

### 2 所在地

本社	福島県東白川郡棚倉町大字流字豊先 1
大梅工場(対象範囲)	福島県東白川郡棚倉町大字大梅字段河内 303-23
生コン工場(対象範囲)	福島県東白川郡棚倉町大字下山本字松並平 34-8
俵内工場(対象範囲)	福島県東白川郡棚倉町大字戸中字高内 186-6
上台工場(対象範囲)	福島県東白川郡棚倉町大字上台字行人塚 51-3
堀川工場(対象範囲)	福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字堀川 15-270
業務(資材・リース)(対象範囲)	福島県東白川郡棚倉町大字堤字塚田 60-3
流給油所	福島県東白川郡棚倉町大字流字豊先 1
関口給油所	福島県東白川郡棚倉町大字関口字上志宝 32-1
社川給油所	福島県東白川郡棚倉町大字堤字塚田 59
塙給油所	福島県東白川郡塙町大字大町 2丁目 17-1
マスホン棚倉店	福島県東白川郡棚倉町大字流字屋中田 53-1

### 3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	常務取締役	下重 佳寛	TEL : 0247-33-7890 E-mail : yoshihiro. s@seeds-g. net
推進責任者	大梅工場	会田 嘉裕	TEL : 0247-35-2220 E-mail : yoshihiro. a@seeds-g. net
	生コン工場	品川 治男	TEL : 0247-33-3233 E-mail : haruo. s@seeds-g. net
	俵内工場	小濃 芳勝	TEL : 0247-35-2214 E-mail : yoshikatsu. o@seeds-g. net
	上台工場・堀川工場	関根 雅仁	TEL : 0247-33-4431 E-mail : masahito. s@seeds-g. net
	業務(資材・リース)	須藤 源胤	TEL : 0247-33-9567 E-mail : mototsugu. s@seeds-g. net

#### 4 事業内容

対象範囲：大梅工場、生コン工場、俵内工場、上台工場、業務（資材・リース）、堀川工場

産業廃棄物収集・運搬、中間処分業、アスファルト合材の製造販売、砂の製造販売、生コンクリートの製造販売、砕石の製造販売、木質ペレットの製造販売、薪の販売、菌床堆肥の製造販売、タテログパネルの製造販売、木骨ハウスの製造、木製品の製造販売、建設資材リース・販売

#### 5 事業の規模

設立年月日： 昭和 39 年 3 月 24 日

資本金： 2,940 万円

売上高： 31.7 億円

	従業員(人)	建物床面積(m3)
本社・流給油所	18	734.70
大梅工場 砕砂・産廃	12	476.66
アスファルト合材	8	
生コン工場（営業 3）	18	695.10
俵内工場	12	163.96
上台工場	6	2445.24
堀川工場	1	622.48
業務（資材・リース）	3	32.49
関口給油所	4	221.79
社川給油所	5	98.00
塙給油所	4	108.77
マスホン棚倉店	5	347.52
合計	96	5946.71

#### 6 事業年度

4月1日～3月31日

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名	株式会社 シーズ		
対象事業所	大梅工場	砕砂・産廃	認証登録済み
		アスファルト合材	認証登録済み
	生コン工場	認証登録済み	
	俵内工場	認証登録済み	
	上台工場	認証取得事業所	
	堀川工場	認証取得事業所	
	業務（資材・リース）	認証取得事業所	

対象外	本社・流給油所	2026年までに認証取得予定
	関口給油所	2026年までに認証取得予定
	社川給油所	2026年までに認証取得予定
	埴給油所	2026年までに認証取得予定
	マスホン棚倉店	2026年までに認証取得予定
事業活動	産業廃棄物収集・運搬、中間処分業、アスファルト合材の製造販売、砂の製造販売、生コンクリートの製造販売、碎石の製造販売、木質ペレットの製造販売、薪の販売、菌床堆肥の製造販売、タテログパネルの製造販売、木骨ハウスの製造、木製品の製造販売、建設資材リース・販売	

## 7 対象期間

大梅工場、生コン工場、俵内工場

令和6年4月～令和7年3月

上台工場、業務（資材・リース）、堀川工場

令和7年1月～令和7年3月（暫定期間）

## 8 段階的認証とする理由

対象範囲：大梅工場、生コン工場、俵内工場

上台工場、業務（資材・リース）、堀川工場

事業内容が多岐に渡りまた、事業拠点が複数あることから、一度に認証を取得することが難しいと判断し、環境負荷が高い大梅工場を初めに認証登録後、4年以内には段階的に拡大します。

## 9 適用ガイドライン

■ エコアクション21ガイドライン2017年版

■ 産業廃棄物処理業者向けガイドライン2017年版

## 10 対象範囲の情報公表項目

(1) 許可・認定・登録

廃棄物に関する許可

	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業の範囲	
				事業区分	廃棄物種類
1	第00703046661号	R4.3.31	R9.3.16	福島県南地方振興局 産業廃棄物収集運搬業	①②③④⑤⑥⑦
2	第00900046661号	R5.4.23	R10.4.22	栃木県 産業廃棄物収集運搬業	①④⑦
3	第00801046661号	R5.6.1	R10.4.15	茨城県 産業廃棄物収集運搬業	①④⑦
4	第00720046661号	R4.3.31	R9.3.16	福島県 産業廃棄物処分業	①⑥⑦
産業 の 種 類	① 汚泥 無機性汚泥に限る)			② 廃プラスチック類 自動車等破砕物を除く。)	
	③ 紙くず	④ 木くず	⑤ 金属くず	自動車等破砕物を除く。)	
	⑥ ガラスくず、コンクリートくず及び、陶磁器くず				⑦ がれき類

一般建設業に関する許可

	許可番号	有効期間	建設業の種類
1	福島県知事 許可 般-3)第27082号	R4.3.19～R9.3.18	土木工事業 舗装工事業 とび 土工工事業

(2) 施設等の状況

●運搬車両の種類と台数

	車種	台数
1	ダンプ車	5
2	キャブオーバ	1
3	脱着装置付コンテナ専用車	1
4	コンクリートミキサー車	5

●破碎・分別に伴う設備機械の種類と台数

	機械名	台数
1	小割機付ショベル	1
2	ショベルローダー	1

●処理施設の種類、処分する産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式

ア、中間処理（破碎）に係る施設

処理施設の種類	がれき類及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くずの破碎施設
処理能力	384 t/日(8時間) 48 t/時間

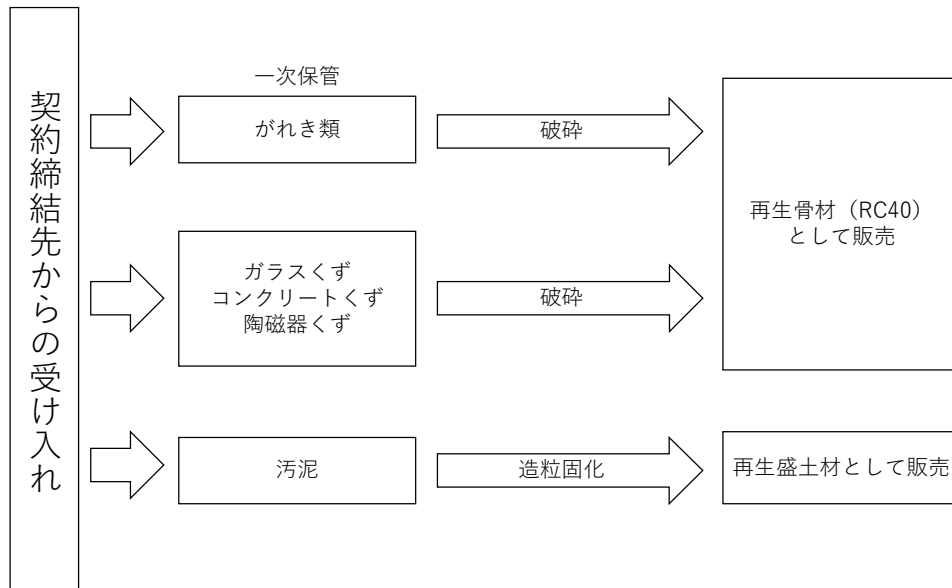
イ、中間処理（汚泥造粒固化）に係る施設

処理施設の種類	汚泥の造粒固化施設 固定式、移動式兼用)ーオデッサシステム
処理能力	120m <sup>3</sup> /日(8時間) 15m <sup>3</sup> /時間

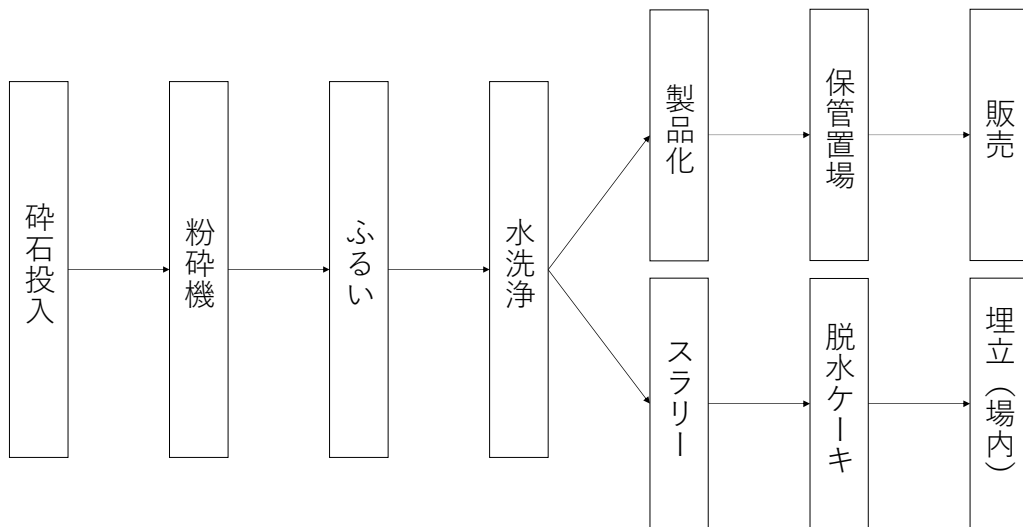
処理施設の種類	汚泥の造粒固化施設 固定式)ーリテラBZ120
処理能力	160m <sup>3</sup> /日(8時間) 20m <sup>3</sup> /時間

(3) 処理工程図

●産業廃棄物中間処理施設 全体処理フロー



●砕砂製造フロー図



(4) 受託した産業廃棄物の収集運搬量 (R6. 4. 1~R7. 3. 31 実績)

種類	収集運搬量 ( t )
アスコン破片	10, 247
コンクリート破片	14, 603
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	4, 762
がれき類 (廃バラスト)	3, 924
無機性汚泥	1, 408

(5) 受託した産業廃棄物の処理量 (R6. 4. 1~R7. 3. 31 実績)

種類	処理量 ( t )
アスコン破片	10, 022
コンクリート破片	14, 365
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	4, 762
がれき類 (廃バラスト)	3, 867
無機性汚泥	1, 408

### 3. 環境経営システムの実施体制図及び役割・責任・権限表

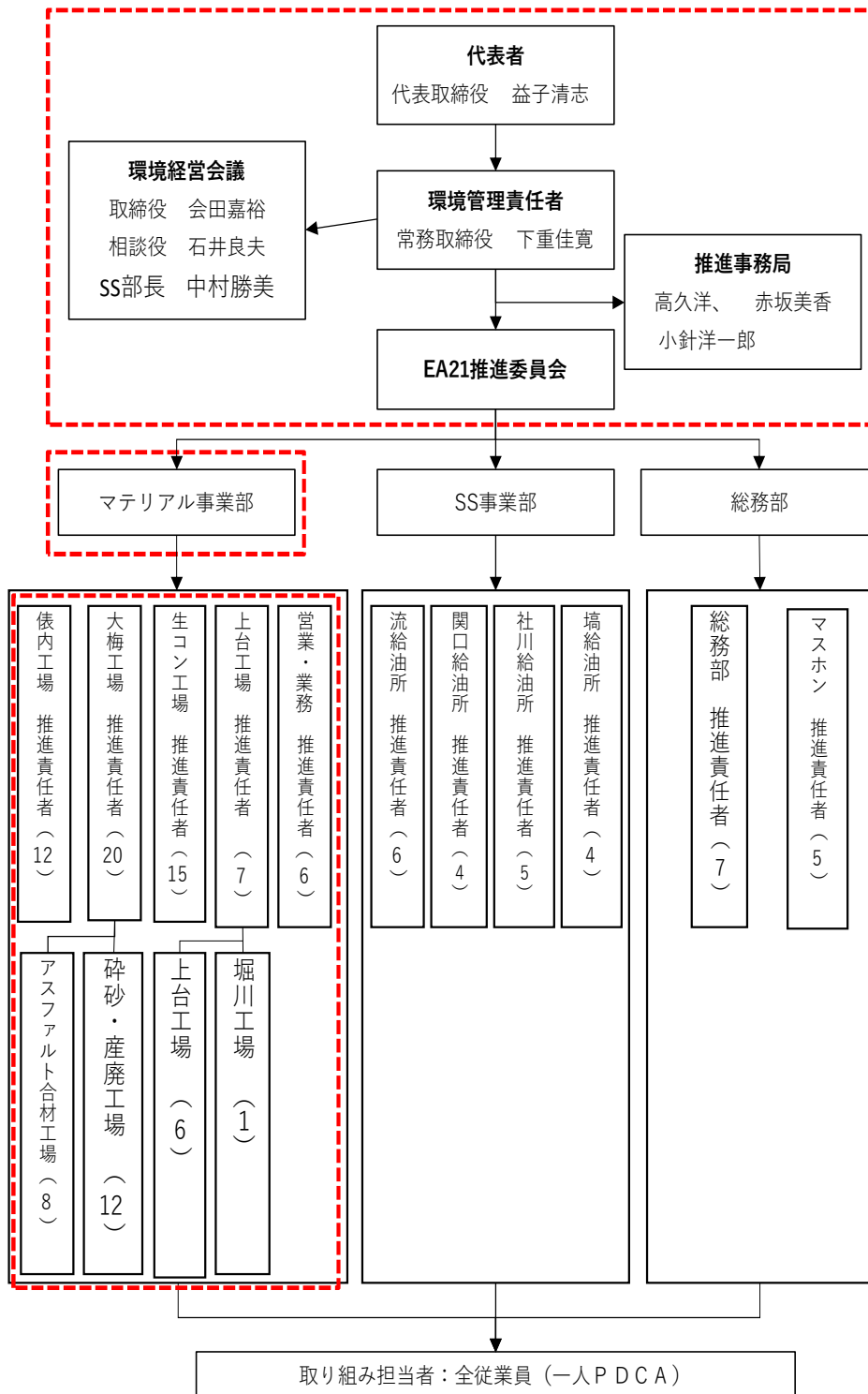
#### 環境経営システム体制図

制定年月日：2022.9.3

改定年月日：2025.6.27

対象事業所： 社内事業所

#### (1). 実施体制図



(2). 役割・責任・権限	
役割・責任・権限	
代表者 (代表取締役)	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備
	・環境管理責任者を任命
	・経営における課題とチャンスの明確化
	・実施体制の構築
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境経営目標・環境経営計画を承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営会議の開催
環境管理 責任者	・環境経営レポートの承認 SDGsの推進
	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・エコアクション21推進委員会を定期的に開催する
	・緊急事態への準備及び対応（BCP含む）訓練に立会い結果の評価をする
	・環境関連法規等の取りまとめ票を承認
	・環境経営目標・環境経営計画の確認又は承認
	・環境経営目標及び環境経営計画の取組結果を代表者へ報告
事務局 担当者	・環境経営レポートの確認又は承認
	・環境管理責任者の補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境目標、環境活動計画書原案の作成
	・環境経営目標及び環境経営計画の実績集計、PDCAの回転確認（進捗管理）
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
対象事業 所責任者 担当者	・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
	・自部門における環境経営目標は部下を通して達成を図る。
	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	・特定された項目の手順書作成及び運用管理
部門社員	・自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施記録の作成保管
	・環境経営方針の理解により、全社と自己の立ち位置を自覚して誓約の重みを確認する
	・役割の理解と削減目標に対するPDCAが回っていることを確認する
	・取組みの進捗状況を月単位で管理し目標の達成に向かっていくことを確認する
	・目標の達成に向けた改善提案を積極的に行い力量を発揮する
改定履歴	・外部コミュニケーションの情報を記録し、迅速に報告する
	制定：令和4年9月3日
	改定：令和4年10月1日
	改定：令和5年5月19日
	改定：令和5年12月18日
	改定：令和6年11月26日
	改定：令和7年6月27日
改定：令和7年9月11日	

## 4. 環境経営目標
















### I. 対象事業所：大梅工場

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

#### (1). 中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）			
		2021年度 (R3.10～ R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2024年度 (R6.4～R7.3)	2025年度 (R7.4～R8.3)	2026年度 (R8.4～R9.3)	
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	1,125,218	1%	2,183,596	2,161,760	2,140,142	
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	7,320	1%	14,845	14,697	14,550	
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	345	1%	670	663	656	
4	化学物質購入量削減(kg/年)	71,903	1%	139,535	138,139	136,758	
5	グリーン購入品増加(品/年)	0	2アイテム増	6	8	10	
6	運搬車両における環境配慮	軽油使用量削減(L/年)	23,685	1%	45,963	45,503	45,048
	事業活動における環境配慮項目	再資源化率の向上(%)	87.6	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上

#### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年度実績) (R3.10～ R4.3)	削減率 (%、件数)	2024年度 環境経営目標 (R6.4～R7.3)	
1	二酸化炭素排出量	1,125,218	1%	2,183,596	
	  (1) 電力排出量	279,879	1%	543,133	
	(2) 灯油排出量	2,891	1%	5,610	
	(3) LPG排出量	369	1%	717	
	(4) ガソリン排出量	4,303	1%	8,351	
	(5) 軽油排出量	274,095	1%	531,908	
2	自社廃棄物排出量	 一般廃棄物	-	1%	640
		産業廃棄物	7,320	1%	14,205
3	水使用量	   345	1%	670	
4	化学物質購入量	   71,903	1%	139,535	
5	グリーン購入の推進	   0	2アイテム増	6	
6	受託した産物の収集運搬及び製品運搬における環境配慮	燃費管理	  23,685	1%	45,963
	事業活動における環境配慮項目	再資源化率の向上	 87.6	99%以上	99%以上

※二酸化炭素排出係数：0.458 t-CO<sub>2</sub>/kWh ((株)V-Power) R4.1.7 公表値(調整後排出係数)

※一般廃棄物排出量は、2022年度の326.6kg/半年から年1%削減で設定しました。

#### (3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間 (R6.4～R7.3) 目標	中長期目標 (3年)
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施
















## II. 対象事業所：生コン工場

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

### (1). 中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2021年度 (R4.1～R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2024年度 (R6.4～R7.3)	2025年度 (R7.4～R8.3)	2026年度 (R8.4～R9.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	112,460	1%	440,888	436,479	432,114
2	廃棄物排出量削減(kg/年)	—	1%	集計する	集計する	集計する
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	—	1%	集計する	集計する	集計する
4	化学物質購入量削減(kg/年)	25,350	1%	99,382	98,388	97,404
5	グリーン購入品増加(品/年)	—	2アイテム増	4	6	8
6	事業活動における環境配慮項目 軽油使用量削減(L/年)	18,971	0.5%	75,125	74,750	74,376

### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年度実績) (R4.1～R4.3)	削減率 (%、件数)	2024年度環境経営目標 (R6.4～R7.3)	
1	二酸化炭素排出量	112,460	1%	440,888	
	 (1) 電力排出量	23,706	1%	92,937	
	 (2) 灯油排出量	1,384	1%	5,428	
	 (3) LPG排出量	18.6	1%	73	
	(4) ガソリン排出量	2,030	1%	7,958	
	(5) 軽油排出量	73,532	1%	288,277	
	(6) LSA重油排出量	11,789	1%	46,216	
2	廃棄物排出量	 一般廃棄物	—	1%	349
		産業廃棄物	—	1%	集計する
3	水使用量	  	—	1%	地下水メータ取付け
4	化学物質購入量	  	25,350	1%	99,382
5	グリーン購入の推進	  	—	2アイテム増	4
6	製品運搬における環境配慮	燃費管理  	18,971	0.5%	75,125

※二酸化炭素排出係数：0.458 t-CO<sub>2</sub>/kWh（(株)V-Power）及び0.457 t-CO<sub>2</sub>/kWh（東北電力(株)） R4.1.7 公表値(調整後排出係数)

※一般廃棄物排出量は、2023年度の89.1kg/3ヶ月から年1%削減で設定しました。

### (3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間（R6.4～R7.3）目標	中長期目標（3年）
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施





### III. 対象事業所：俵内工場

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

#### (1). 中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2021年度 (R4.1～R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2024年度 (R6.4～R7.3)	2025年度 (R7.4～R8.3)	2026年度 (R8.4～R9.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	313,641	1%	1,229,598	1,217,302	1,205,129
2	廃棄物排出量削減(kg/年)	875	1%	3,430	3,396	3,362
3	ガス使用量削減(kg/年)	20	現状維持	81	81	81
4	化学物質購入量削減(kg/年)	993	1%	3,895	3,856	3,817
5	グリーン購入品増加(品/年)	-	2アイテム増	4	6	8
6	事業活動における環境配慮項目 生産量の向上(t/年)	72,225	1%増	294,707	297,654	300,630

#### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年度実績) (R4.1～R4.3)	削減率 (%、件数)	2024年度環境経営目標 (R6.4～R7.3)	
1	二酸化炭素排出量	313,641	1%	1,229,598	
	 (1) 電力排出量	97,145	1%	380,845	
	 (2) 灯油排出量	1,143	1%	4,481	
	 (3) LPG排出量	60.43	1%	237	
	(4) ガソリン排出量	1,153	1%	4,520	
	(5) 軽油排出量	214,140	1%	839,514	
2	廃棄物排出量	 一般廃棄物	-	1%	527
		産業廃棄物	875	1%	3,430
3	ガス使用量	20	現状維持	81	
4	化学物質購入量	993	1%	3,895	
5	グリーン購入の推進	-	2アイテム増	4	
6	事業活動における環境配慮項目 生産量の向上(t/年)	72,225	1%増	294,707	

※二酸化炭素排出係数：0.458 t-CO<sub>2</sub>/kWh（(株)V-Power） R4.1.7 公表値（調整後排出係数）

※一般廃棄物排出量は、2023年度の133.19kg/3ヶ月から年1%削減で設定しました。

#### (3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間（R6.4～R7.3）目標	中長期目標（3年）
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施















#### IV. 対象事業所：上台工場

対象期間（暫定）：2025年1月1日～2025年3月31日

##### (1). 中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2023年度 (R6.1～R6.3)	年率(%) 年件数(件)	2024年度 (R7.1～R7.3)	2025年度 (R7.4～R8.3)	2026年度 (R8.4～R9.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	41,962	1%	41,543	164,509	162,864
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	106	1%	105	416	412
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	35	1%	34.7	137	136
4	化学物質購入量削減(kg/年)	0	1%	0	0	0
5	グリーン購入品増加(品/年)	—	2アイテム増	2	4	6
6	事業活動における環境配慮項目 端材(小径木)の商品化	—	1アイテム増	計量する	計量する	計量する

##### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2023年度実績) (R6.1～R6.3)	削減率 (%、件数)	2024年度環境経営目標 (R7.1～R7.3)	
1	二酸化炭素排出量	41,962	1%	41,543	
	  (1) 電力排出量	32,328	1%	32,005	
	(2) 灯油排出量	966	1%	956	
	(3) LPG排出量	0	1%	0	
	(4) ガソリン排出量	369	1%	365	
	(5) 軽油排出量	8,300	1%	8,217	
2	自社廃棄物排出量	 一般廃棄物	106	1%	105
	産業廃棄物	0	1%	0	
3	水使用量	  	35	1%	34.7
4	化学物質購入量	  	0	1%	0
5	グリーン購入の推進	  	—	2アイテム増	2
6	事業活動における環境配慮項目 端材(小径木)の商品化	 	—	1アイテム増	計量する

※二酸化炭素排出係数：0.458 t-CO2/kWh ((株)V-Power) 及び0.457 t-CO2/kWh (東北電力(株)) R4.1.7 公表値(調整後排出係数)

##### (3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間(R7.1～R7.3) 目標	中長期目標(3年)
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施






V. 対象事業所：堀川工場

対象期間（暫定）：2025年1月1日～2025年3月31日

(1). 中長期目標

No	環境経営 目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2023年度 (R6.1～R6.3)	年率(%) 年件数(件)	2024年度 (R7.1～R7.3)	2025年度 (R7.4～R8.3)	2026年度 (R8.4～R9.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	2,025	1%	2,005	7,939	7,860
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	—	1%	計量する	計量する	計量する
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	2	現状維持	2	2	2
4	グリーン購入品増加(品/年)	—	2アイテム増	2	4	6
5	事業活動における環境配慮項目	端材再利用量の向上	1%	計量する	計量する	計量する

(2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2023 年度実績) (R6.1～R6.3)	削減率 (%、件数)	2024年度 環境経営目標 (R7.1～R7.3)	
1	二酸化炭素排出量	2,025	1%	2,005	
	 (1) 電力排出量	1,846	1%	1,827	
	(2) 灯油排出量	179	1%	177	
2	自社廃棄物排出量	 一般廃棄物	0	1%	0
		産業廃棄物	0	1%	0
3	水使用量	 2	現状維持	2	
4	グリーン購入の推進	 —	2アイテム増	2	
5	事業活動における環境配慮項目	端材再利用量の向上	 1%	計量する	

※二酸化炭素排出係数：0.457 t-CO<sub>2</sub>/kWh（東北電力(株)） R4.1.7 公表値（調整後排出係数）

(3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間（R7.1～R7.3）目標	中長期目標（3年）
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施












VI. 対象事業所：業務（資材・リース）

対象期間（暫定）：2025年1月1日～2025年3月31日

(1). 中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2023年度 (R6.1～R6.3)	年率(%) 年件数(件)	2024年度 (R7.1～R7.3)	2025年度 (R7.4～R8.3)	2026年度 (R8.4～R9.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	1,316	1%	1,303	5,159	5,107
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	25	1%	24.75	98	97
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	13	1%	12.87	51	50
4	グリーン購入品増加(品/年)	—	2アイテム増	2	4	6
5	事業活動における環境配慮項目	看板の再利用	1アイテム増	計量する	計量する	計量する

(2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2023年度実績) (R6.1～R6.3)	削減率 (%、件数)	2024年度環境経営目標 (R7.1～R7.3)			
1	二酸化炭素排出量	1,316	1%	1,303			
	 11 住み続けられるまちづくりを	(1) 電力排出量	885	1%	876		
	 13 気候変動に具体的な対策を	(2) 灯油排出量	188	1%	186		
	 15 陸の豊かさも守ろう	(3) LPG排出量	0	1%	0		
		(4) ガソリン排出量	84	1%	83		
		(5) 軽油排出量	159	1%	158		
2	自社廃棄物排出量	 12 つくる責任 つかう責任	一般廃棄物	25	1%	24	
			産業廃棄物	0	1%	0	
3	水使用量	 6 きれいな水	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	13	1%	12.87
4	グリーン購入の推進	 12 つくる責任 つかう責任	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	—	2アイテム増	2
5	事業活動における環境配慮項目	看板の再利用	 12 つくる責任 つかう責任	—	1アイテム増	計量する	

※二酸化炭素排出係数：0.457 t-CO<sub>2</sub>/kWh（東北電力(株)） R4.1.7 公表値(調整後排出係数)







(3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間（R7.1～R7.3）目標	中長期目標（3年）
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施

## 5. 環境経営計画

### 1. 対象事業所：大梅工場

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画	担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度	
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減	緑川	不要照明の消灯	通年	
		部門長	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	2025～	
		緑川	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年	
		緑川	普段使用しない機器の電源を抜いておく	通年	
		緑川	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年	
		緑川	冷暖房機器フィルター清掃	年2回	
		緑川	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの利用）	通年	
		部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	年2回	
	ガス使用の削減	緑川	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日	
		部門長	電気給湯器への切り替え	2026.10	
		エコドライブの実施	大森	エコドライブ教育研修に参加	8月
			大森	日常点検の実施	毎日
	大森		アイドリング時間の削減	通年	
	大森		急発進、急加速はしない	通年	
	大森		タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月	
	A重油使用の削減	緑川	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	毎日	
		部門長	水切り骨材の優先使用	雨天時	
		部門長	ストックヤードのシート掛けの励行	雨天時	
 廃棄物排出量の削減（自社）	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木	分別の徹底と保管	通年
			鈴木	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	緑川	コピー数量の削減	通年
			緑川	文書の電子化の推進	通年
			緑川	OA紙の資源化（回収サービスの利用等）	通年
			緑川	分別の徹底	通年
緑川	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年			
 総削減水量	水道使用量の削減	中村部長	洗車時の自動水栓弁の取り付け	2026.3	
	中水の利用	部門長	循環水システムの工夫	通年	
	地下水・雨水の利用	部門長	利用目的（消雪・散水）に応じた効率的な使用	通年	
 化学物質の削減	化学物質の削減	和知	化学物質の代替品への移行	通年	
	化学物質のSDS管理	和知	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年	
	化学物質有害性把握	和知	揮発性有機溶剤の削減	通年	
 グリーン購入推進	環境負荷低減	緑川	グリーン購入品目の集計	通年	
		緑川	エコマーク品の購入推進	通年	
 本業の環境配慮	再資源化率向上	緑川	年間の再資源化率の集計	2022.11～	
	資源の有効利用	鈴木	中間処理における待機動力の削減	通年	
	燃費向上	鈴木	燃費管理の実施	毎日	
	緑化活動	生田目	敷地内植樹（グリーンカーテン等）の実施	年1回	
 地域社会貢献活動	地域・社会貢献活動	部門長	地域清掃活動への参加	年3回	
		部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年	
 5S活動	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動	部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日	
		部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回	

II. 対象事業所：生コン工場

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減		鈴木	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善（間引き及びブルダウンスイッチ他更新）	2025.3
			鈴木	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			鈴木	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年
			鈴木	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			鈴木	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設置）	2025.3
			部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	年2回
	ガス使用の削減		鈴木	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日
			部門長	ガス使用の見直し	2023.4
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	8月
			小濃	日常点検の実施	毎日
			小濃	アイドリング時間の削減	通年
			小濃	急発進、急加速はしない	通年
			小濃	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
			小濃	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	毎日
LSA重油使用の削減		部門長	ボイラー稼働時間の短縮	冬期	
廃棄物排出量の削減（自社） 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	牧野	分別の徹底と保管	通年
			牧野	分別方法を判りやすく掲示	2024.9
			牧野	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	鈴木	コピー数量の削減	通年
			鈴木	OA紙の資源化	通年
			鈴木	分別の徹底	通年
			鈴木	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
	 化学物質の削減 化学物質の削減	化学物質の削減		垂石	化学物質の代替品への移行
化学物質のSDS管理		垂石	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年	
 環境負荷低減 環境負荷低減	環境負荷低減		鈴木	グリーン購入品目の集計	通年
			鈴木	エコマーク品の購入推進	通年
 燃費向上 燃費向上	燃費向上		小濃	ミキサー車の燃費管理の実施	毎日
			地域・社会貢献活動		部門長
 地域・社会貢献活動 地域・社会貢献活動	地域・社会貢献活動		部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年
			5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		部門長
 5S活動 5S活動	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回

### III. 対象事業所：俵内工場

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度	
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減		宗田	不要照明の消灯	通年	
			部門長	照明器具の改善（間引き及びブルダウンスイッチ他更新）	2025. 3	
			鈴木(美)	0A機器・家電製品の待機電力の削減	通年	
			鈴木(美)	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年	
			宗田	冷暖房機器フィルター清掃	年2回	
			宗田	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設定）	2025. 3	
			部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	年2回	
			ガス使用の削減	鈴木(美)	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日
				部門長	ガス使用の見直し	年2回
			エコドライブの実施	部門長	エコドライブ教育研修に参加	8月
				中郡	日常点検の実施	毎日
				和知	アイドリング時間の削減	通年
				和知	急発進、急加速はしない	通年
				和知	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
	工藤	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）		毎日		
廃棄物排出量の削減（自社） 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	宗田	分別の徹底と保管	通年	
			宗田	分別方法を判りやすく掲示	2024. 9	
			宗田	廃棄物置場の整理	通年	
	一般廃棄物	ゴミの削減	宗田	コピー数量の削減	通年	
			宗田	0A紙の資源化	通年	
			宗田	分別の徹底	通年	
			中郡	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年	
	化学物質の削減		工藤	化学物質の代替品への移行	通年	
	化学物質のSDS管理		工藤	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年	
	環境負荷低減		鈴木(美)	グリーン購入品目の集計	通年	
			鈴木(美)	エコマーク品の購入推進	通年	
	生産量向上	作業工程の見直し	部門長	作業の見直しを図り、改善策を講じる	年3回	
		地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	年3回
		部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年		
活動5S 	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日	
			部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回	

#### IV. 対象事業所：上台工場

対象期間（暫定）：2025年1月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画	担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度	
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減	垂石	不要照明の消灯	通年	
		部門長	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	2026.3	
		垂石	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年	
		垂石	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年	
		部門長	冷暖房機器フィルター清掃	年2回	
		垂石	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターへの設置）	2026.3	
		部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	年2回	
	燃料の削減	部門長	木質ペレット規格外製品の燃料化	通年	
	エコドライブの実施	部門長	エコドライブ教育研修に参加	8月	
		出島	日常点検の実施	毎日	
		出島	アイドリング時間の削減	通年	
		出島	急発進、急加速はしない	通年	
		出島	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月	
部門長		燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	毎日		
廃棄物排出量の削減（自社） 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木万	分別の徹底と保管	通年
			鈴木万	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	垂石	コピー数量の削減	通年
			垂石	OA紙の資源化	通年
			出島	分別の徹底	通年
垂石	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年			
の総削減 	水道使用量の削減	高橋	節水の励行	通年	
	中水の利用	部門長	循環水システムの工夫	通年	
	地下水・雨水の利用	部門長	利用目的に応じた効率的な使用（おが粉乾燥に利用）	通年	
化学物質の削減 	化学物質の削減	部門長	環境配慮製品への移行	通年	
	化学物質のSDS管理	部門長	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年	
のング推購リ進 	環境負荷低減	垂石	グリーン購入品目の集計	通年	
		垂石	エコマーク品の購入推進	通年	
配環境の 	端材の再利用	部門長	小径木の商品化	通年	
活会地域 動会地域 社 	地域・社会貢献活動	部門長	地域清掃活動への参加	年3回	
		部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年	
活5動S 	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動	部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日	
		部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回	

V. 対象事業所：堀川工場

対象期間（暫定）：2025年1月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		市本	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	2026.3
			市本	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			市本	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年
			市本	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			市本	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	年2回
 廃棄物排出量の削減（自社）	一般廃棄物	ゴミの削減	市本	コピー数量の削減	通年
			市本	OA紙の資源化	通年
			市本	分別の徹底	通年
			市本	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
 の総削減水量	水道使用量の削減		市本	こまめな節水	通年
 のング推奨購入！	環境負荷低減		垂石	グリーン購入品目の集計	通年
			垂石	エコマーク品の購入推進	通年
 配環境の	端材再利用量の向上		部門長	商品開発	毎日
 会地域活動	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	年3回
			部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年
活5動S	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		市本	整理・整頓・清掃を行う	毎日
			市本	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回

VI. 対象事業所：業務（資材・リース）

対象期間（暫定）：2025年1月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度	
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		関根	不要照明の消灯	通年	
			須藤	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	2026.3	
			関根	0A機器・家電製品の待機電力の削減	通年	
			関根	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年	
			須藤	冷暖房機器フィルター清掃	年2回	
			関根	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設置）	2026.3	
	エコドライブの実施		須藤	エコドライブ教育研修に参加	8月	
			須藤	日常点検の実施	毎日	
			須藤	アイドリング時間の削減	通年	
			須藤	急発進、急加速はしない	通年	
			須藤	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月	
			須藤	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	毎日	
 の削減（自社）	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	須藤	分別の徹底と保管	通年	
			須藤	廃棄物置場の整理	通年	
	一般廃棄物	ゴミの削減	関根	コピー数量の削減	通年	
			関根	0A紙の資源化	通年	
			関根	分別の徹底	通年	
			関根	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年	
 の総削減	水道使用量の削減		関根	こまめな節水	通年	
			関根	看板洗浄時の作業工程の見直し		
 購入の推進	環境負荷低減		関根	グリーン購入品目の集計	通年	
			関根	エコマーク品の購入推進	通年	
 配環境	本業の		廃棄看板の再利用	須藤	他部署での再利用呼びかけ	通年
 地域貢献活動	地域・社会貢献活動		関根	地域清掃活動への参加	年3回	
			須藤	各種環境イベントへの積極的参加	通年	
活5 動S	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		須藤	整理・整頓・清掃を行う	毎日	
			須藤	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回	

## 6. 環境経営計画の取組内容と実施結果の評価

### I. 対象事業所：大梅工場

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施結果の評価	
					評価	コメント
二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		緑川	不要照明の消灯	◎	使用しない機器等の電源を抜いたり、不要な照明器具の消灯については、従業員に浸透してきました。ただし、冷暖房の温度管理については、体感が人によって変わるため管理が難しくなっています。サーキュレーター等で送風を利用しながら、温度管理していけるよう努めます。
			部門長	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	△	
			緑川	OA機器・家電製品の待機電力の削減	○	
			〃	普段使用しない機器の電源を抜いておく	○	
			〃	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	×	
			〃	冷暖房機器フィルター清掃	△	
			〃	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設置）	○	
	部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	○			
	ガス使用の削減		緑川	給湯器のこまめな温度調節を行う	◎	給湯器の温度管理を徹底しています。そのため、ガスの使用量を削減できました。
			部門長	電気給湯器への切り替え	×	
	エコドライブの実施		大森	エコドライブ教育研修に参加	○	日常点検を実施し、定期メンテナンスを行っています。エコドライブを意識しながら、運転に努めています。
			〃	日常点検の実施	◎	
			〃	アイドリング時間の削減	△	
			〃	急発進、急加速はしない	○	
			〃	タイヤの空気圧を定期的に調整する	○	
緑川	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	◎				
A重油使用の削減		部門長	水切り骨材の優先使用	◎	雨の日は、骨材が水に濡れないようにシートを掛けを徹底し、ボイラーでの乾燥時間を短くすることで、燃料の使用量を削減することに努めています。	
		〃	ストックヤードのシート掛けの励行	◎		
		〃	連続運転の励行（着火回数の低減）	◎		
廃棄物の削減（自社）	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木	分別の徹底と保管	○	ゴミの分別を行い、一般ごみの計量を行うことで、ゴミの削減に努めています。また、文書を印刷せずにメール等で共有することで、紙ごみを減らす努力を続けています。
			〃	廃棄物置場の整理	○	
	一般廃棄物	ゴミの削減	緑川	コピー数量の削減	○	
			〃	文書の電子化の推進	△	
			〃	OA紙の資源化	◎	
			〃	分別の徹底	○	
〃	〃	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	△			
給水量の削減	水道使用量の削減	中村部長	洗車時の自動水栓の取り付け	×	洗車時の自動水栓は設備の仕様により行えておりません。今後、設備の入替時に節水機能がある設備を検討していきます。雨水等を最大限利用できるような生産に努めています。	
	中水の利用	部門長	循環水システムの工夫	○		
	地下水・雨水の利用	〃	利用目的（消雪・散水）に応じた効率的な使用	○		
化学物質の削減	化学物質の削減	和知	化学物質の代替品への移行	△	製品を生産する上で、環境に配慮した物質を選択するよう心掛けています。台帳管理することで、化学物質の使用量把握に努めています。	
	化学物質のSDS管理	〃	化学物質使用量の台帳管理による使用	◎		
	化学物質有害性把握	〃	揮発性有機溶剤の削減	△		
入りの推進	環境負荷低減	緑川	グリーン購入品目の集計	22	エコマークやグリーンマークがある商品を優先に購入しました。前年度より1品目増加しました。	
		〃	エコマーク品の購入推進	△		
本業の環境配慮	再資源化率向上	緑川	年間の再資源化率の集計	◎	産業廃棄物の再資源化率100%を目標に掲げ作業に取り組んでいます。また、作業工程を確認し、待機電力を抑えています。場内にサツキツツジ、しだれ桜、セイヨウヒイラギの3種を計8本植樹しました。	
	資源の有効利用	鈴木	中間処理における待機動力の削減	◎		
	燃費向上	〃	燃費管理の実施	◎		
	緑化活動	生田目	敷地内植樹（グリーンカーテン等）の実施	◎		
活動地域貢献	地域・社会貢献活動	部門長	地域清掃活動への参加	◎	道路清掃や環境整備等に積極的に参加しました。	
		〃	各種環境イベントへの積極的参加	◎		
5S活動	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動	部門長	整理・整頓・清掃を行う	○	整理整頓することで、作業の効率化を図り、掃除を行うことで、機器のトラブル等がなくなるよう努めました。	
		〃	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	○		

目標達成100%以上：◎ 目標達成90～100%未満：○ 目標達成70～90%未満：△ 目標達成70%未満：×

## II. 対象事業所：生コン工場

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施結果の評価		
					評価	コメント	
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減		鈴木	不要照明の消灯	○	使用していない照明等はこまめに消灯するように心掛けています。冷暖房については、管理が行き届いていない所があります。サーキュレーターを購入し使用することで、場所による温度差をなくし効率よく暖房機器を使用していきます。	
			部門長	照明器具の改善（間引き及びブルダウンスイッチ他更新）	×		
			鈴木	OA機器・家電製品の待機電力の削減	○		
			鈴木	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	△		
			鈴木	冷暖房機器フィルター清掃	◎		
			鈴木	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設置）	×		
			部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	◎		
	ガス使用の削減		鈴木	給湯器のこまめな温度調節を行う	—	ガス給湯器から電気給湯器に変更したため、ガスの使用量はありません。次年度から項目を削除します。	
			部門長	ガス使用の見直し	—		
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	◎	エコドライブ講習に参加し、意識してエコドライブに努めています。車のメンテナンスを行い、燃費向上に努めています。	
			小濃	日常点検の実施	◎		
			小濃	アイドリング時間の削減	○		
			小濃	急発進、急加速はしない	○		
			小濃	タイヤの空気圧を定期的に調整する	○		
			小濃	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	◎		
	LSA重油使用の削減		部門長	ボイラー稼働時間の短縮	◎	冬期の凍結時にボイラーを使用しますが、短時間での使用を心掛けています。	
	廃棄物の削減（自社） 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	牧野	分別の徹底と保管	◎	ゴミの分別を徹底し、リサイクル出来るものと分けることで、廃棄処分量を減らすよう心掛けています。ミスコピーを減らし、両面を使用することで、コピー用紙の削減に努めています。
				牧野	分別方法を判りやすく掲示	◎	
牧野				廃棄物置場の整理	◎		
一般廃棄物		ゴミの削減	鈴木	コピー数量の削減	○		
			鈴木	OA紙の資源化	○		
			鈴木	分別の徹底	○		
			鈴木	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	△		
化学物質の削減 	化学物質の削減		垂石	化学物質の代替品への移行	×	使用量を台帳管理し、在庫管理することで、適切に管理しています。これから環境に配慮した製品を検討したいと思っています。	
	化学物質のSDS管理		垂石	化学物質使用量の台帳管理による使用	◎		
推進のグリーン購入 	環境負荷低減		鈴木	グリーン購入品目の集計	21	事務用品を購入する場合には、環境に配慮した製品を優先的に購入しています。	
			鈴木	エコマーク品の購入推進	△		
配慮の環境 	燃費向上		小濃	ミキサー車の燃費管理の実施	○	走行距離と燃料消費量をデータ化することで、見える化を図り、燃費向上に努めています。	
貢献の地域社会 	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	◎	地域の清掃活動や植樹祭に参加しました。	
			部門長	各種環境イベントへの積極的参加	△		
5S活動 	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		部門長	整理・整頓・清掃を行う	○	赤札作戦を行うことで、不要なものを把握し、整理整頓を促しています。	
			部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	○		

目標達成100%以上：◎ 目標達成90～100%未満：○ 目標達成70～90%未満：△ 目標達成70%未満：×

### III. 対象事業所：俵内工場

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施結果の評価	
					評価	コメント
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減		宗田	不要照明の消灯	○	使用しない照明は消灯を行っています。空調については、適宜温度管理を行い、使用量の削減に取り組んでいます。生産計画を見直しました。
			部門長	照明器具の改善（間引き及びブルダウンスイッチ他更新）	○	
			鈴木(美)	OA機器・家電製品の待機電力の削減	○	
			鈴木(美)	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	○	
			宗田	冷暖房機器フィルター清掃	○	
			宗田	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設置）	○	
			部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	○	
	ガス使用の削減		鈴木(美)	給湯器のこまめな温度調節を行う	○	こまめに温度調整を行い、ガスの使用量の削減に取り組んでいます。
			部門長	ガス使用の見直し	○	
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	×	今年度は、全体でのエコドライブ講習が行われなかったため、講習に参加できませんでした。次回開催される時には積極的に参加します。車両の点検を毎日行い、安全面に考慮しながら取り組んでいます。
			中郡	日常点検の実施	○	
			和知	アイドリング時間の削減	○	
			和知	急発進、急加速はしない	○	
			和知	タイヤの空気圧を定期的に調整する	○	
			工藤	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	○	
廃棄物の削減（自社） 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	宗田	分別の徹底と保管	○	ゴミの分別表示をすることで、分別を促しています。
			宗田	分別方法を判りやすく掲示	○	
			宗田	廃棄物置場の整理	○	
	一般廃棄物	ゴミの削減	宗田	コピー数量の削減	○	裏紙を使用することで、紙の削減に取り組んでいます。また、紙ごみを分別することで、リサイクルしやすくしています。
			宗田	OA紙の資源化	○	
			宗田	分別の徹底	○	
			中郡	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	△	
	化学物質の削減 	化学物質の削減		工藤	化学物質の代替品への移行	△
化学物質のSDS管理		工藤	化学物質使用量の台帳管理による使用	△		
グリーン購入の推進 	環境負荷低減		鈴木(美)	グリーン購入品目の集計	29	環境に配慮した商品を購入することに努めています。
			鈴木(美)	エコマーク品の購入推進	△	
本業の環境配慮 	作業工程の見直し		部門長	作業の見直しを図り、改善策を講じる	△	生産計画を見直し、効率よく生産出来るように努めています。
地域社会への貢献活動 	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	○	年3回、河川清掃や道路清掃に参加しました。
			部門長	各種環境イベントへの積極的参加	×	
5S活動	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		部門長	整理・整頓・清掃を行う	○	作業終了時には、整理整頓しています。不用品には赤札を貼付し、分別しています。
			部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	○	

目標達成100%以上：◎ 目標達成90～100%未満：○ 目標達成70～90%未満：△ 目標達成70%未満：×

IV. 対象事業所：上台工場

対象期間（暫定）：2025年1月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画	担当者	取組の具体的内容	実施結果の評価	
				評価	コメント
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減	垂石	不要照明の消灯	◎	使用しない照明やPCの電源を切り、お昼休みも消灯を行いました。 冬季はペレットストーブを使用することでエアコンの使用を極力減らし電力を削減しました。 今後は各種設備の効率的な運転を向上させて電力の削減に努めたいと思います。
		部門長	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	×	
		垂石	OA機器・家電製品の待機電力の削減	○	
		垂石	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	△	
		部門長	冷暖房機器フィルター清掃	×	
		垂石	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設置）	○	
		部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	○	
	燃料の削減	部門長	木質ペレット規格外製品の燃料化	○	規格外製品を燃料とすることで燃料消費量を抑えられました。
	エコドライブの実施	部門長	エコドライブ教育研修に参加	—	期間中エコドライブ研修を受講できませんでしたが、エコドライブを周知し燃費向上と安全運転の意識向上を図りました。
		鈴木万	日常点検の実施	○	
		鈴木万	アイドリング時間の削減	○	
鈴木万		急発進、急加速はしない	○		
鈴木万		タイヤの空気圧を定期的に調整する	△		
部門長		燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	×		
 廃棄物の削減（自社）	産業廃棄物 分別の徹底	出島	分別の徹底と保管	◎	細かな分別をすることで産業廃棄物を減らし、資源として処理することができました。さらに使い捨てカップの使用を減らすなど廃棄物の削減に取り組んでいきたいです。
		出島	廃棄物置場の整理	×	
	一般廃棄物 ゴミの削減	垂石	コピー数量の削減	○	
		垂石	OA紙の資源化	◎	
		出島	分別の徹底	◎	
		垂石	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	△	
 総水量の削減	水道使用量の削減	出島	節水の励行	×	水道水使用量について節水の意識をもつことが出来なかった一方、大量に使用する場合は地下水の利用を心がけました。
	中水の利用	部門長	循環水システムの工夫	○	
	地下水・雨水の利用	部門長	利用目的に応じた効率的な使用（おが粉乾燥に利用）	○	
 化学物質の削減 使用	化学物質の削減	部門長	環境配慮製品への移行	×	化学物質の管理台帳を作成することで、使用量を把握して必要最低限の購入量で在庫調整ができました。
	化学物質のSDS管理	部門長	化学物質使用量の台帳管理による使用	○	
 入りのグリーン推進	環境負荷低減	垂石	グリーン購入品目の集計	×	購入時にエコマーク品等に置き換えられるものを検討しながら購入しています。
		垂石	エコマーク品の購入推進	×	
 環境配慮の	端材の再利用	部門長	小径木の商品化	△	自社ノベルティグッズを小径木で作成しました。
 地域社会への貢献活動	地域・社会貢献活動	部門長	地域清掃活動への参加	×	事業所周りの清掃にとどまり、地域清掃活動には参加できませんでした。
		部門長	各種環境イベントへの積極的参加	×	
 5S活動	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動	部門長	整理・整頓・清掃を行う	○	5S活動を実施することで部材などの重複購入を削減することができました。
		部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	○	

目標達成100%以上：◎ 目標達成90～100%未満：○ 目標達成70～90%未満：△ 目標達成70%未満：×

## V. 対象事業所：堀川工場

対象期間（暫定）：2025年1月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施結果の評価	
					評価	コメント
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		市本	不要照明の消灯	◎	長期間使用しない設備の電源を切るなど節電対策が不十分でした。今後は各種設備の効率的な運転を向上させて電力の削減に努めたいと思います。
			部門長	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	×	
			市本	OA機器・家電製品の待機電力の削減	○	
			市本	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	○	
			市本	冷暖房機器フィルター清掃	×	
			市本	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	△	
 廃棄物の削減（自社）	一般廃棄物	ゴミの削減	市本	コピー数量の削減	○	裏紙の利用でコピー用紙の削減に取り組みました。さらに unnecessaryな印刷を減らしていきたいです。
			市本	OA紙の資源化	◎	
			市本	分別の徹底	○	
			市本	マイパック・マイボトル・マイ箸への移行	○	
 水の総削減量	水道使用量の削減		市本	こまめな節水	×	節水できるポイントを洗い出し、対策を講じていきたいです。
 グリーン購入の推進	環境負荷低減		垂石	グリーン購入品目の集計	×	購入時にエコマーク品等に置き換えられるものを検討しながら購入しています。
			垂石	エコマーク品の購入推進	×	
 環境配慮	端材再利用量の向上		部門長	商品開発	×	今後端材が定期的に出れば商品を考えていきたいです。
 地域貢献活動	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	×	事業所周りの清掃にとどまり、地域清掃活動には参加できませんでした。
			部門長	各種環境イベントへの積極的参加	×	
 5動S活	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		市本	整理・整頓・清掃を行う	△	要・不要の仕分けを進めて無駄を無くしていきたいです。
			市本	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	△	

目標達成100%以上：◎ 目標達成90～100%未満：○ 目標達成70～90%未満：△ 目標達成70%未満：×

## VI. 対象事業所：業務（資材・リース）

対象期間（暫定）：2025年1月1日～2025年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施結果の評価	
					評価	コメント
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		関根	不要照明の消灯	◎	外作業時の照明のON/OFFを行いました。今後温度管理を上手く出来るようにサーキュレーターと加湿器を活用し気温管理に務める。現場事務所として倉庫のレンタルをしたので使用が増えた。
			須藤	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	×	
			関根	OA機器・家電製品の待機電力の削減	○	
			関根	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	○	
			須藤	冷暖房機器フィルター清掃	×	
			関根	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設置）	×	
	エコドライブの実施		須藤	エコドライブ教育研修に参加	—	エコドライブについての意識を高め、理解を深めと実践を行っています。
			須藤	日常点検の実施	○	
			須藤	アイドリング時間の削減	×	
			須藤	急発進、急加速はしない	○	
			須藤	タイヤの空気圧を定期的に調整する	△	
須藤			燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	×		
 廃棄物排出量（自社）の削減	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	須藤	分別の徹底と保管	◎	店舗・コンビニで購入時、ゴミ削減できるようマイバック・ボトル持参や昼食時にもゴミ削減に務めました。紙類に関しては、裏紙活用したり、データで残すもの分け保存した。
			須藤	廃棄物置場の整理	×	
	一般廃棄物	ゴミの削減	関根	コピー数量の削減	○	
			関根	OA紙の資源化	◎	
			関根	分別の徹底	◎	
関根	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	△				
 総水量の削減	水道使用量の削減		関根	こまめな節水	△	バケツに一定水を溜め洗車・うし活用、洗浄機の活用で水量軽減に務める。
			関根	看板洗浄時の作業工程の見直し	△	
 推進のグリーン購入	環境負荷低減		関根	グリーン購入品目の集計	×	事務所にて使うものが一定のものなのでグリーン・Eマークを意識していく。
			関根	エコマーク品の購入推進	×	
 配慮の環境	廃棄看板の再利用		須藤	他部署での再利用呼びかけ	○	各事業所に写真・メールで期間を決め案内した。定期的に行い再利用する。
 地域社会貢献活動	地域・社会貢献活動		関根	地域清掃活動への参加	×	1～3月に関しては地域清掃活動はないですが。ほかの期間にて年間通し参加しております。
			須藤	各種環境イベントへの積極的参加	×	
5 動 S 活	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		須藤	整理・整頓・清掃を行う	○	日々整理を心掛けております
			須藤	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	○	

目標達成100%以上：◎ 目標達成90～100%未満：○ 目標達成70～90%未満：△ 目標達成70%未満：×

## 7. 環境活動計画の実績とその評価

### 大梅工場

#### 環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	基準年 2021年度 実績(6ヶ月) (a)	2024年度 削減率 1%削減	2024年度 目標 (b)	実績年 2024年度 実績 (c)	実績基準 削減率 (%) $((a \times 2) - c) / (a \times 2) \times 100$	目標基準 達成率 (%) $b / c \times 100$	評価
売上高 (万円単位)		50,486.4			63,006.0			
CO2総量削減	CO2 (kg/年)	1,125,218	0.01	2,183,596.0	1,243,671	44.7	175.6	◎
	CO2指数 (CO2kg/万円)	22.3	0.01	22.1	20	11.4	111.8	◎
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	279,879	0.01	543,133	391,414	30.1	138.8	◎
	電力量指数 (CO2kg/万円)	5.54	0.01	5.49	6.2	-12.1	88.3	△
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	2,891	0.01	5,610	2,164	62.6	259.3	◎
	灯油 (CO2kg/万円)	0.06	0.01	0.06	0.03	40.0	165.1	◎
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)	369	0.01	717.0	571	22.6	125.6	◎
	LPG (CO2kg/万円)	0.01	0.01	0.01	0.01	-24.0	79.9	△
ガソリン使用量 削減	ガソリン (CO2kg/年)	4,303	0.01	8,351	4,632	46.2	180.3	◎
	ガソリン (CO2kg/万円)	0.09	0.01	0.08	0.07	13.7	114.8	◎
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	274,095	0.01	531,908	400,450	27.0	132.8	◎
	軽油 (CO2kg/万円)	5.4	0.01	5.37	6	-17.1	84.6	△
A重油使用量削減	A重油 (CO2kg/年)	563,680	0.01	1,093,876	444,440	60.6	246.1	◎
	A重油 (CO2kg/万円)	11.2	0.01	11.05	7	36.8	156.7	◎
一般廃棄物排出量削減	一般廃棄物 (t/年)		0.01	0.640	0.651		98.3	○
	一般廃棄物 (t/万円)	0.00	0.01	0.00	0.00001		0.0	×
自社産業廃棄物 排出量削減	産業廃棄物 (t/年)	7.32	0.01	14.21	17.52	-19.7	81.1	△
	産業廃棄物 (t/万円)	0.00014	0.01	0.00	0.00028	-91.8	51.6	×
水使用量削減	水使用量 (m3/年)	345	0.01	670	577.0	16.4	116.1	◎
	水使用量 (m3/万円)	0.01	0.01	0.01	0.01	-34.0	73.9	△
化学物質購入量	化学物質購入量 (kg/年)	71,903	0.01	139,535	147,500	-2.6	94.6	○
	化学物質購入量 (kg/万円)	1.42	0.01	1.41	2.34	-64.4	60.2	×
グリーン購入品 目数増加	品目数 (品/年)		2	6	11		183.3	◎
受託した産業廃棄物の 再資源化率向上 (※)	再資源化率 (%)	87.6	99%以上	99%以上	98.5	10.9	99.5	○
車両の燃費向上 (※)	軽油使用量(L/年)	23,685	0.01	45,963	56,460	-19.2	81.4	△
	軽油使用量(L/万円)	0.47	0.01	0.46	0.90	-91.0	51.8	×
地域貢献活動協力	地域清掃活動・環境イベントへの参加	2		年3回	6		100.0	◎
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作戦の実施			年1回	1		100.0	◎

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1) 達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※2021年度の実績は、6ヶ月間のため実績基準削減率を算出する際には、値を2倍にして算出しました。

※再資源化率向上については、目標基準達成率 $c/b \times 100$ で算出しました。

生コン工場

環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	基準年 2021年度 実績(3ヶ月) (a)	2024年度 削減率	2024年度 目標 (b)	実績年 2024年度 実績 (c)	実績基準 削減率 (%) ((a×4)-c)/(a× 4)×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価
売上高 (万円単位)		17,405.8			41,242.0			
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	112,460	0.01	440,888	303,242	32.6	145.4	◎
	CO2指数 (CO2kg/万円)	6	0.01	6.4	7	-13.8	87.0	△
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	23,706	0.01	92,937	69,482	26.7	133.8	◎
	電力量指数 (CO2kg/万円)	1.4	0.01	1.348	1.7	-23.7	80.0	△
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	1,384	0.01	5,428	1,287	76.8	421.6	◎
	灯油 (CO2kg/万円)	0.08	0.01	0.079	0.03	60.8	252.3	◎
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)	18.6	0.01	73.0	0	100.0	100.0	◎
	LPG (CO2kg/万円)	0.00	0.01	0.001	0.00	100.0	100.0	◎
ガソリン使用量 削減	ガソリン (CO2kg/年)	2,030	0.01	7,958	7,898	2.7	100.8	◎
	ガソリン (CO2kg/万円)	0.12	0.01	0.12	0.19	-64.2	60.3	×
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	73,532	0.01	288,277	221,947	24.5	129.9	◎
	軽油 (CO2kg/万円)	4.2	0.01	4.18	5	-27.4	77.7	△
LSA重油使用量 削減	LSA重油 (CO2kg/年)	11,789	0.01	46,216	2,629	94.4	1,758.1	◎
	LSA重油 (CO2kg/万円)	0.7	0.01	0.67	0.1	90.6	1,052.0	◎
一般廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物 (t/年)		0.01	0.349	0.34		104.0	◎
	一般廃棄物 (t/万円)		0.01	0.0000	0.00001		0.0	×
産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物 (t/年)	0	0.01	0	0.35		0.0	×
	産業廃棄物 (t/万円)	0.00000	0.01	0.0	0.00001		0.0	×
水使用量削減 	水使用量 (m3/年)		0.01	メーター設置	メーター未設置	0.0	0.0	×
化学物質購入量 	化学物質購入量 (kg/年)	25,350	0.01	99,382.0	25,544	74.8	389.1	◎
	化学物質購入量 (kg/万円)	1.46	0.01	1.44	0.62	57.5	232.8	◎
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)		2	4	1		25.0	×
車両の燃費向上 (※) 	軽油使用量(L/年)	18,971	0.005	75,125	63,354	16.5	118.6	◎
	軽油使用量(L/万円)	1.09	0.005	1.08	1.54	-40.9	70.6	△
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イ ベントへの参加	0		年3回	3		100.0	◎
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作 戦の実施			年1回	1		100.0	◎

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1) 達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※2021年度の実績は、3ヶ月間のため実績基準削減率を算出する際には、値を4倍にして算出しました。

俵内工場

環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	基準年 2021年度 実績(3ヶ月) (a)	2024年度 削減率	2024年度 目標 (b)	実績年 2024年度 実績 (c)	実績基準 削減率 (%) $((a \times 4) - c) / (a \times 4) \times 100$	目標基準 達成率 (%) $b / c \times 100$	評価
売上高 (万円単位)		16,490.7			43,366.0			
CO2総量削減	CO2 (kg/年)	313,641	0.01	1,229,598.0	948,058	24.4	129.7	◎
	CO2指数 (CO2kg/万円)	19	0.01	18.8	22	-14.9	86.1	△
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	97,145	0.01	380,845	312,851	19.5	121.7	◎
	電力量指数 (CO2kg/万円)	5.9	0.01	5.832	7.2	-22.5	80.8	△
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	1,143	0.01	4,481	1,815	60.3	246.9	◎
	灯油 (CO2kg/万円)	0.07	0.01	0.069	0.04	39.6	163.9	◎
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)	60.4	0.01	237.0	85	65.0	280.0	◎
	LPG (CO2kg/万円)	0.00	0.01	0.004	0.002	46.7	185.9	◎
ガソリン使用量 削減	ガソリン (CO2kg/年)	1,153	0.01	4,520	3,314	28.2	136.4	◎
	ガソリン (CO2kg/万円)	0.07	0.01	0.07	0.08	-9.3	90.6	○
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	214,140	0.01	839,514	629,957	26.5	133.3	◎
	軽油 (CO2kg/万円)	13.0	0.01	12.86	15	-11.9	88.5	△
一般廃棄物排出量削減	一般廃棄物 (t/年)		0.01	0.527	0.66		80.2	△
	一般廃棄物 (t/万円)		0.01	0.0000	0.00002		0.0	×
産業廃棄物 排出量削減	産業廃棄物 (t/年)	0.875	0.01	3.430	2.59	26.0	100.0	◎
	産業廃棄物 (t/万円)	0.0001	0.01	0.0	0.0001	-12.6	100.0	◎
ガス使用量削減	ガス使用量 (kg/年)	20.0	現状維持	81.0	28.2	64.7	287.0	◎
	ガス使用量 (kg/万円)	0.0012	現状維持	0.00	0.0007	0.0	100.0	◎
化学物質購入量	化学物質購入量 (kg/年)	993	0.01	3,895	2,154	45.8	180.9	◎
	化学物質購入量 (kg/万円)	0.06	0.01	0.06	0.05	17.6	120.1	◎
グリーン購入品 目数増加	品目数 (品/年)		2	4	5		125.0	◎
生産量の向上 (※)	生産量(t/年)	72,225	0.01	294,707	254,637	11.9	86.4	△
	生産量(t/万円)	4.38	0.01	4.34	5.87	-34.1	135.4	◎
地域貢献活動協力	地域清掃活動・環境イベントへの参加	0		年3回	3		100.0	◎
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作戦の実施			年1回	1		100.0	◎

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1) 達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※2021年度の実績は、3ヶ月間のため実績基準削減率を算出する際には、値を4倍にして算出しました。

※生産量の向上については、目標基準達成率 $c/b \times 100$ で算出しました。

※一般廃棄物排出量削減については、2023年度の排出量133.19kg/3ヶ月より目標値を設定しました。

上台工場

環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	基準年 2023年度 実績 (a)	2023年度 削減率	2023年度 目標 (b)	実績年 2024年度 実績 (c)	実績基準 削減率 (%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価
売上高 (万円単位)		716.0			12,404.0			
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	41,962	0.01	41,542.8	49,080	-17.0	84.6	△
	CO2指数 (CO2kg/万円)	58.61	0.01	58.0	3.96	93.2	1,466.4	◎
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	32,328	0.01	32,005	39,633	-22.6	80.8	△
	電力量指数 (CO2kg/万円)	45.15	0.01	44.699	3.20	92.9	1,399.0	◎
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	966	0.01	956	1,150	-19.1	83.1	△
	灯油 (CO2kg/万円)	1.35	0.01	1.336	0.09	93.1	1,440.4	◎
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)	0.00	0.01	0.0	0.0		0.0	×
	LPG (CO2kg/万円)	0.00	0.01	0.00	0.00		0.0	×
ガソリン使用量 削減	ガソリン (CO2kg/年)	369	0.01	365	294	20.2	124.1	◎
	ガソリン (CO2kg/万円)	0.52	0.01	0.51	0.02	95.4	2,149.8	◎
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	8,300	0.01	8,217	8,002	3.6	102.7	◎
	軽油 (CO2kg/万円)	11.59	0.01	11.48	0.65	94.4	1,778.8	◎
一般廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物 (kg/年)	106.1	0.01	105.039	20.31	80.9	517.2	◎
	一般廃棄物 (kg/万円)	0.14818	0.01	0.1467	0.00164	98.9	8,959.6	◎
産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物 (kg/年)	0	0.01	0	350	0.0	0.0	×
	産業廃棄物 (kg/万円)	0.0	0.01	0.0	0.028	0.0	0.0	×
水使用量削減 	水使用量 (m3/年)	35	0.01	34.7	54	-54.3	64.2	×
	水使用量 (m3/万円)	0.049	0.01	0.05	0.004	91.1	1,111.6	◎
化学物質購入量 	化学物質購入量 (kg/年)	0	0.01	0.0	8	0.0	0.0	×
	化学物質購入量 (kg/万円)	0.00	0.01	0.00	0.0006	0.0	0.0	×
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)		2	2	0	0.0	0.0	×
端材 (小径木) の商 品化 (※) 	商品化量(個/年)		1,000	0	0	0.0	0.0	×
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イ ベントへの参加	0		年3回	0	0.0	0.0	×
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作 戦の実施			年1回	1		100.0	◎

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1)達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

堀川

環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	基準年 2023年度 実績 (a)	2023年度 削減率	2023年度 目標 (b)	実績年 2024年度 実績 (c)	実績基準 削減率 (%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価
売上高 (万円単位)		187.0			107.0			
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	2,025	0.01	2,004.8	1,343	33.7	149.3	◎
	CO2指数 (CO2kg/万円)	10.83	0.01	10.7	12.55	-15.9	85.4	△
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	1,846	0.01	1,827	1,253	32.1	145.8	◎
	電力量指数 (CO2kg/万円)	9.87	0.01	9.772	11.71	-18.6	83.4	△
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	179	0.01	177	90	50.0	198.0	◎
	灯油 (CO2kg/万円)	0.96	0.01	0.949	0.84	12.6	113.3	◎
一般廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物 (kg/年)	/	0.01	0.000	/	0.0	0.0	x
	一般廃棄物 (kg/万円)	0.00	0.01	0.0000	0.00	0.0	0.0	x
産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物 (t/年)	0	0.01	0	0	/	0.0	x
	産業廃棄物 (t/万円)	0.0	0.01	0.0	0.0	/	0.0	x
水使用量削減 	水使用量 (m3/年)	2	0.01	1.98	2	0.0	99.0	○
	水使用量 (m3/万円)	0.0107	0.01	0.01	0.0187	-74.8	56.6	x
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)	/	2	2	0	0.0	0.0	x
端材再利用料の向上 (※) 	再利用料(kg/年)	/	0.01	0	0	0.0	0.0	x
	再利用料 (kg/万円)	0.00	0.01	0.00	0.00	0.0	0.0	x
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イ ベントへの参加	0	/	年3回	0	0.0	0.0	x
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作 戦の実施	/	/	年1回	1	/	100.0	◎

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	x

\*1)達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

業務

環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	基準年 2023年度 実績 (a)	2023年度 削減率	2023年度 目標 (b)	実績年 2024年度 実績 (c)	実績基準 削減率 (%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価
売上高 (万円単位)		31,871.0			11,522.0			
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	1,316	0.01	1,302.7	1,368	-3.9	95.3	○
	CO2指数 (CO2kg/万円)	0.041	0.01	0.0	0.119	-187.5	34.4	×
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	885	0.01	876	785	11.3	111.6	◎
	電力量指数 (CO2kg/万円)	0.028	0.01	0.027	0.068	-145.5	40.3	×
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	188	0.01	186	166	12.0	112.5	◎
	灯油 (CO2kg/万円)	0.006	0.01	0.006	0.014	-143.4	40.7	×
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)	0.0	0.01	0.0	0		0.0	×
	LPG (CO2kg/万円)	0.000	0.01	0.000	0.000		0.0	×
ガソリン使用量 削減	ガソリン (CO2kg/年)	84	0.01	83	0	100.0	100.0	◎
	ガソリン (CO2kg/万円)	0.003	0.01	0.00	0.000	100.0	100.0	◎
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	159	0.01	158	417	-161.9	37.8	×
	軽油 (CO2kg/万円)	0.005	0.01	0.00	0.036	-624.5	13.7	×
LSA重油使用量 削減	LSA重油 (CO2kg/年)	0	0.01	0	0		0.0	×
	LSA重油 (CO2kg/万円)	0.000	0.01	0.00	0.000		0.0	×
一般廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物 (kg/年)	24.7	0.01	24.453	28.50	-15.4	85.8	△
	一般廃棄物 (kg/万円)	0.0008	0.01	0.0008	0.002	-219.2	31.0	×
産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物 (kg/年)	0	0.01	0	700	0.0	0.0	×
	産業廃棄物 (kg/万円)	0.000	0.01	0.0	0.061	0.0	0.0	×
水使用量削減 	水使用量 (m3/年)	13	0.01	12.9	14	-7.7	91.9	○
	水使用量 (m3/万円)	0.0004	0.01	0.00	0.0012	-197.9	33.2	×
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)		2	2	0	0.0	0.0	×
看板の再利用 (※  )	再利用数(個/年)		1,000	0	0	0.0	0.0	×
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イ ベントへの参加	0		年3回	0	0.0	0.0	×
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作 戦の実施			年1回	1		100.0	◎

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1)達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

## 8. 環境経営目標の実績と達成率を踏まえた評価

### 大梅工場 環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	実績基準 削減率 (%) $((a \times 2) - c) / (a \times 2) \times 100$	目標基準 達成率 (%) $b / c \times 100$	評価	達成度評価コメント
売上高 (万円単位)					
CO2総量削減	CO2 (kg/年)	44.7	175.6	◎	全体的に削減目標を大幅に達成できましたが、ほぼ売上げの減少によるもの と思われます。
	CO2指数 (CO2kg/万円)	11.4	111.8	◎	
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	30.1	138.8	◎	売上げが減少したことにより、目標を大幅に達成できました。砕砂プラント の使用が増加したことにより売上げ当たりのCO2排出量が増加しました。
	電力量指数 (CO2kg/万円)	-12.1	88.3	△	
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	62.6	259.3	◎	目標を達成できました。冬場の暖房用の使用が主になりますので、基準年度 と同じような使用量になりました。
	灯油 (CO2kg/万円)	40.0	165.1	◎	
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)	22.6	125.6	◎	合材の試験でガスを使用しますので、試験によってガスの使用量は変化しま すが、売上げの減少により目標を達成できました。
	LPG (CO2kg/万円)	-24.0	79.9	△	
ガソリン使用量 削減	ガソリン (CO2kg/年)	46.2	180.3	◎	工事現場に行く回数が減りましたので、目標を達成できました。
	ガソリン (CO2kg/万円)	13.7	114.8	◎	
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	27.0	132.8	◎	売上げが減少したことにより、運搬用のダンプの使用量が減ったことによ り、目標を達成できました。ただし、産業廃棄物の収集運搬が増加したこと で売上げ当たりのCO2排出量が増加しました。
	軽油 (CO2kg/万円)	-17.1	84.6	△	
A重油使用量削 減	A重油 (CO2kg/年)	60.6	246.1	◎	アスファルト合材の売上げが減少したことにより、目標を達成できました。
	A重油 (CO2kg/万円)	36.8	156.7	◎	
一般廃棄物排出量削 減	一般廃棄物 (t/年)		98.3	○	目標値には達成しませんでした。達成率は98.3%となりました。
	一般廃棄物 (t/万円)		0.0	×	
自社産業廃棄物 排出量削減	産業廃棄物 (t/年)	-19.7	81.1	△	目標を達成できませんでしたが、基準年に木くず、がれき類が無かった事によ ると思われます。廃棄物の分別は周知浸透していました。
	産業廃棄物 (t/万円)	-91.8	51.6	×	
水使用量削減	水使用量 (m3/年)	16.4	116.1	◎	節水を心掛け、削減目標を達成できました。
	水使用量 (m3/万円)	-34.0	73.9	△	
化学物質購入量	化学物質購入量 (kg/年)	-2.6	94.6	○	固化剤が大幅に増えました。これは、汚泥の受入量が210増加しその処理に 使用したことによります。
	化学物質購入量 (kg/万円)	-64.4	60.2	×	
グリーン購入品 目数増加	品目数 (品/年)		183.3	◎	前年度の10種類から11種類となり、1品目増となりました。目標品目数を超 えましたので、達成となりました。
受託した産業廃棄物の 再資源化率向上 (※)	再資源化率 (%)	10.9	99.5	○	目標値には届きませんが、目標基準達成率は99.5%となり、ほぼ再資 源化できました。
車両の燃費向上 (※)	軽油使用量(L/年)	-19.2	81.4	△	自社の産廃収集運搬が増加したことにより、軽油の使用量は目標より多くな りましたが、基準年度より燃料の削減量は929.4L/年となり、CO2削減量は
	軽油使用量(L/万円)	-91.0	51.8	×	
地域貢献活動協力	地域清掃活動・環境イ イベントへの参加		100.0	◎	城跡公園・JR駅舎・河川清掃(年2回)・国道118号線の清掃活動、植樹祭にも 参加しました。
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作 戦の実施		100.0	◎	5月に5S推進委員会が行われ11月の5S推進委員会までに、赤札作戦を実施し ました。









評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1) 達成率90～100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※2021年度の実績は、6ヶ月間のため実績基準削減率を算出する際には、値を2倍にして算出しました。

※再資源化率向上については、目標基準達成率c/b×100で算出しました。

生コン工場  
環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)


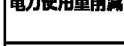
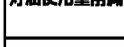
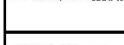










環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	実績基準 削減率(%) ((a×4)-c)/(a× 4)×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価	達成度評価コメント
売上高(万円単位)					
CO2総量削減 	CO2(kg/年)	32.6	145.4	◎	全体的に売上が減少したことにより、目標を達成できました。
	CO2指数(CO2kg/万円)	-13.8	87.0	△	
電力使用量削減	電力量(CO2kg/年)	26.7	133.8	◎	売上が減少したことにより、目標を達成できました。
	電力量指数(CO2kg/万円)	-23.7	80.0	△	
灯油使用量削減	灯油(CO2kg/年)	76.8	421.6	◎	冬期の暖房用で使用するため、基準年度と同じような使用量となり、目標を達成できました。
	灯油(CO2kg/万円)	60.8	252.3	◎	
LPG使用量削減	LPG(CO2kg/年)	100.0	100.0	◎	2023年3月30日に電気給湯器に入れ替えたため、ガスの使用量がなくなりました。そのため目標を達成できました。次回より項目を削除します。
	LPG(CO2kg/万円)	100.0	100.0	◎	
ガソリン使用量削減	ガソリン(CO2kg/年)	2.7	100.8	◎	売上が減少したことにより、目標を達成できました。現場が遠方のため、売上当たりのガソリンの使用量は増加しました。
	ガソリン(CO2kg/万円)	-64.2	60.3	×	
軽油使用量削減	軽油(CO2kg/年)	24.5	129.9	◎	売上が減少したことにより、目標を達成できました。現場が遠方のため、売上当たりの軽油の使用量は増加しました。
	軽油(CO2kg/万円)	-27.4	77.7	△	
LSA重油使用量削減	LSA重油(CO2kg/年)	94.4	1,758.1	◎	冬期の製品温度維持用ボイラーで使用するため、売上が減少したことにより、目標を達成できました。冬期の出荷量が基準年度より約2300m <sup>3</sup> 減少となりました。
	LSA重油(CO2kg/万円)	90.6	1,052.0	◎	
一般廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物(t/年)		104.0	◎	今年度より計量を始めましたので、この値を基準に来年度から評価します。
	一般廃棄物(t/万円)		0.0	×	
産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物(t/年)		0.0	×	基準年度及び、昨年度は、取組期間中に産業廃棄物の排出がなかったため、この値を基準に来年度から評価します。
	産業廃棄物(t/万円)		0.0	×	
水使用量削減 	水使用量(m <sup>3</sup> /年)	0.0	0.0	×	地下水のため、メーターの設置が難しいので、次回から評価を削除します。
化学物質購入量 	化学物質購入量(kg/年)	74.8	389.1	◎	目標を達成できました。製品の生産量及び品質管理により購入量が変化しました。
	化学物質購入量(kg/万円)	57.5	232.8	◎	
グリーン購入品 目数増加 	品目数(品/年)		25.0	×	昨年度より1品目追加しました。目標値には達成できませんでしたが、環境に配慮した製品の購入に努めています。
車両の燃費向上(※) 	軽油使用量(L/年)	16.5	118.6	◎	2021年度より燃料が約5,710L/年、二酸化炭素は約15,000kg-CO <sub>2</sub> /年削減できました。また、目標値も達成できました。
	軽油使用量(L/万円)	-40.9	70.6	△	
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イベントへの参加		100.0	◎	国道118号線清掃活動(7月)、河川清掃(10月)、令和の森の植樹(10月)の計3回参加しましたので、目標を達成できました。
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作戦の実施		100.0	◎	5月に5S推進委員会が行われ11月の5S推進委員会までに、赤札作戦を実施しました。

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1)達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※2021年度の実績は、3ヶ月間のため実績基準削減率を算出する際には、値を4倍にして算出しました。

俵内工場  
環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	実績基準 削減率 (%) $((a \times 4) - c) / (a \times 4) \times 100$	目標基準 達成率 (%) $b / c \times 100$	評価	達成度評価コメント
売上高(万円単位)					
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	24.4	129.7	◎	売上が減少したことより、目標を達成できました。大型のコンクラッシャーを入替えたことにより電気使用量は増加しました。
	CO2指数 (CO2kg/万円)	-14.9	86.1	△	
電力使用量削減 	電力量 (CO2kg/年)	19.5	121.7	◎	昨年度にコンクラッシャーを大型に入替えたため、基準年度より電力量指数は増加しましたが、売上が減少したことにより電力量は目標を達成できまし
	電力量指数 (CO2kg/万円)	-22.5	80.8	△	
灯油使用量削減 	灯油 (CO2kg/年)	60.3	246.9	◎	冬期の暖房でしか灯油を使用しないため、基準年度の1月~3月の取組期間と同様の使用量となったため、目標値を達成できました。
	灯油 (CO2kg/万円)	39.6	163.9	◎	
LPG使用量削減 	LPG (CO2kg/年)	65.0	280.0	◎	給湯器の使用が主になり、給湯器のこまめな温度調整と機械のメンテナンスで、目標値を達成できました。
	LPG (CO2kg/万円)	46.7	185.9	◎	
ガソリン使用量削減 	ガソリン (CO2kg/年)	28.2	136.4	◎	社有車での使用となり、エコドライブを行うことで目標値を達成できました。
	ガソリン (CO2kg/万円)	-9.3	90.6	○	
軽油使用量削減 	軽油 (CO2kg/年)	26.5	133.3	◎	出荷量が減少したことにより、重機の稼働時間が減少したことで、目標を達成できました。
	軽油 (CO2kg/万円)	-11.9	88.5	△	
一般廃棄物排出量削減 	一般廃棄物 (t/年)		80.2	△	2023年度の排出量(133.19kg/3ヶ月)より目標値を設定しました。約80%目標を達成できました。
	一般廃棄物 (t/万円)		0.0	×	
産業廃棄物排出量削減 	産業廃棄物 (t/年)	26.0	100.0	◎	目標を達成できました。
	産業廃棄物 (t/万円)	-12.6	100.0	◎	
ガス使用量削減 	ガス使用量 (kg/年)	64.7	287.0	◎	給湯器以外に冬場は、機械のメンテナンスで使用するため冬場の使用量が多くなるが、こまめに温度調整することで目標値を達成できました。
	ガス使用量 (kg/万円)	0.0	100.0	◎	
化学物質購入量 	化学物質購入量 (kg/年)	45.8	180.9	◎	目標を達成できました。
	化学物質購入量 (kg/万円)	17.6	120.1	◎	
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)		125.0	◎	前年度は集計していませんでしたが、今年度から環境に配慮した商品を積極的に購入し、目標値を達成できました。
生産量の向上(※) 	生産量(t/年)	11.9	86.4	△	出荷量が減少したことにより、生産量も減少しましたが、コンクラッシャーを大型にしたことにより売上げに対する生産量は増加しました。
	生産量(t/万円)	-34.1	135.4	◎	
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イベントへの参加		100.0	◎	4月に「JR駅舎清掃」、8月と12月に「工場入り口県道の橋の上の清掃活動」に参加しました。
5S活動の実施 	5S推進委員会・赤札作戦の実施		100.0	◎	5月に5S推進委員会が行われ11月の5S推進委員会までに、赤札作戦を実施しました。

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×





\*1)達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※2021年度の実績は、3ヶ月間のため実績基準削減率を算出する際には、値を4倍にして算出しました。

※生産量の向上については、目標基準達成率 $c/b \times 100$ で算出しました。

※一般廃棄物排出量削減については、2023年度の排出量133.19kg/3ヶ月より目標値を設定しました。

上台工場  
環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	実績基準 削減率 (%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価	達成度評価コメント
売上高 (万円単位)					
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	-17.0	84.6	△	ペレット生産量の増加に伴いエネルギー消費が増え目標を達成できませんでした。
	CO2指数 (CO2kg/万円)	93.2	1,466.4	◎	
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	-22.6	80.8	△	ペレット生産量が増え工場稼働時間が長くなり消費電力が多くなりました。
	電力量指数 (CO2kg/万円)	92.9	1,399.0	◎	
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	-19.1	83.1	△	ペレット工場稼働日数増えたことにより乾燥機で使用する灯油が増加し、目標を達成できませんでした。
	灯油 (CO2kg/万円)	93.1	1,440.4	◎	
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)		0.0	×	基準年・実績年共にLPGの使用はありませんでした。
	LPG (CO2kg/万円)		0.0	×	
ガソリン使用量削減	ガソリン (CO2kg/年)	20.2	124.1	◎	社有車の使用状況の変動により目標を達成することができました。
	ガソリン (CO2kg/万円)	95.4	2,149.8	◎	
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	3.6	102.7	◎	ペレットの配達回数が減少したために大型車の燃料消費が減少し目標を達成できました。
	軽油 (CO2kg/万円)	94.4	1,778.8	◎	
一般廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物 (kg/年)	80.9	517.2	◎	コンビニ弁当などのごみ削減と容器回収の仕出し弁当の利用などで目標を達成することができました。
	一般廃棄物 (kg/万円)	98.9	8,959.6	◎	
産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物 (kg/年)	0.0	0.0	×	基準年(2024年1月~3月)に産業廃棄物の排出がなかった為、目標を達成できませんでした。
	産業廃棄物 (kg/万円)	0.0	0.0	×	
水使用量削減 	水使用量 (m3/年)	-54.3	64.2	×	従業員数の増加でトイレなど水道使用量が増加し、目標を達成することができませんでした。
	水使用量 (m3/万円)	91.1	1,111.6	◎	
化学物質購入量 	化学物質購入量 (kg/年)	0.0	0.0	×	基準年(2024年1月~3月)の化学物質の購入がなかった為、目標を達成できませんでした。
	化学物質購入量 (kg/万円)	0.0	0.0	×	
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)	0.0	0.0	×	集計を行っていませんでしたので、次年度から集計を行います。
端材(小径木)の商品化(※) 	商品化量(個/年)	0.0	0.0	×	集計を行っていませんでしたので、次年度から集計を行います。
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イベントへの参加	0.0	0.0	×	取組期間中に清掃活動がありませんでした。
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作戦の実施		100.0	◎	赤札作戦を実施し工場内の不要物等の整理整頓を行いました。

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1)達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

## 堀川

### 環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)



環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	実績基準 削減率 (%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価	達成度評価コメント
売上高 (万円単位)					
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	33.7	149.3	◎	作業効率改善や再生可能エネルギー活用で目標を達成することができました。
	CO2指数 (CO2kg/万円)	-15.9	85.4	△	
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	32.1	145.8	◎	作業効率を上げ設備稼働時間を短くすることができた。
	電力量指数 (CO2kg/万円)	-18.6	83.4	△	
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	50.0	198.0	◎	ペレットストーブや薪ストーブを活用し灯油使用量を削減できた。
	灯油 (CO2kg/万円)	12.6	113.3	◎	
一般廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物 (kg/年)	0.0	0.0	×	集計を行っていませんでしたので、次年度から集計を行います。
	一般廃棄物 (kg/万円)	0.0	0.0	×	
産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物 (t/年)		0.0	×	基準年・実績年共に産業廃棄物の排出はありませんでした。
	産業廃棄物 (t/万円)		0.0	×	
水使用量削減 	水使用量 (m3/年)	0.0	99.0	○	使用量は少ないものこまめな節水に心がけて目標を達成出来るように見直しを行います。
	水使用量 (m3/万円)	-74.8	56.6	×	
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)	0.0	0.0	×	集計を行っていませんでしたので、次年度から集計を行います。
端材再利用料の向上 (※) 	再利用料(kg/年)	0.0	0.0	×	集計を行っていませんでしたので、次年度から集計を行います。
	再利用料 (kg/万円)	0.0	0.0	×	
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イベントへの参加	0.0	0.0	×	取組期間中に清掃活動がありませんでした。
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作戦の実施		100.0	◎	年に1回の赤札作戦を実施しました。年間を通して整理整頓していくことを心掛けたい。

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1)達成率90～100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

業務

環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	実績基準 削減率 (%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価	達成度評価コメント
売上高 (万円単位)					
CO2総量削減 	CO2 (kg/年)	-3.9	95.3	○	CO2排出に関する理解を深め事業所全員で取り組む努力をしていきます。
	CO2指数 (CO2kg/万円)	-187.5	34.4	×	
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	11.3	111.6	◎	倉庫を現場事務所にレコしたため使用量が増えた。倉庫内作業等を中心に行ったので電力使用となり未達成
	電力量指数 (CO2kg/万円)	-145.5	40.3	×	
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	12.0	112.5	◎	暖かい日があり温度を保つことができたので使用軽減となりました。
	灯油 (CO2kg/万円)	-143.4	40.7	×	
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)		0.0	×	基準年・実績年共にLPGの使用はありませんでした。
	LPG (CO2kg/万円)		0.0	×	
ガソリン使用量削減	ガソリン (CO2kg/年)	100.0	100.0	◎	取組期間中 (2025年1月~3月) にガソリンの使用がなかった為目標を達成できました。
	ガソリン (CO2kg/万円)	100.0	100.0	◎	
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	-161.9	37.8	×	現場等打ち合わせがあり達成できませんでした。
	軽油 (CO2kg/万円)	-624.5	13.7	×	
LSA重油使用量削減	LSA重油 (CO2kg/年)		0.0	×	基準年・実績年共にLSA重油の使用はありませんでした。
	LSA重油 (CO2kg/万円)		0.0	×	
一般廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物 (kg/年)	-15.4	85.8	△	不要な書類整理を年度末に行ったので達成できませんでした。
	一般廃棄物 (kg/万円)	-219.2	31.0	×	
産業廃棄物 排出量削減 	産業廃棄物 (kg/年)	0.0	0.0	×	基準年 (2024年1月~3月) に産業廃棄物の排出がなかった為、目標を達成できませんでした。
	産業廃棄物 (kg/万円)	0.0	0.0	×	
水使用量削減 	水使用量 (m3/年)	-7.7	91.9	○	基準年に比べてレンタル看板の返却多く洗浄作業が増えた為、水使用量が若干増えました。作業は凍結、転倒等、安全配慮した。
	水使用量 (m3/万円)	-197.9	33.2	×	
グリーン購入品 目数増加 	品目数 (品/年)	0.0	0.0	×	集計を行っていませんでしたので、次年度から集計を行います。
看板の再利用 (※  )	再利用数(個/年)	0.0	0.0	×	集計を行っていませんでしたので、次年度から集計を行います。
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イベントへの参加	0.0	0.0	×	取組期間中に清掃活動がありませんでした。
5S活動の実施	5S推進委員会・赤札作戦の実施		100.0	◎	赤札作戦の実施。 通年を通しての倉庫・事務所内の整理整頓を実施。

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

\*1)達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

全体

環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	大梅工場		生コン工場		橋内工場		上台工場		堀川工場		業務		目標基準 達成率 (%)	全体 評価	達成度評価コメント
	目標基準 達成率(%)	評価	目標基準 達成率(%)	評価	目標基準 達成率(%)	評価	目標基準 達成率(%)	評価	目標基準 達成率(%)	評価	目標基準 達成率(%)	評価			
CO2総量 削減	175.6	○	145.4	○	129.7	○	84.6	△	149.3	○	95.3	○	130.0	○	上台工場以外は売上げの減少により、目標値を達成することができた。 上台工場は売上げが増加したため目標を達成できなかった。
電力使用量削減	138.8	○	133.8	○	121.7	○	80.8	△	145.8	○	111.6	○	122.1	○	上台工場以外は売上げの減少により、目標値を達成することができた。 上台工場は売上げが増加したため目標を達成できなかった。
灯油使用量削減	259.3	○	421.6	○	246.9	○	83.1	△	198.0	○	112.5	○	220.2	○	主に冬季暖房用として使用する灯油は、前年（又は基準年）と大幅な変化はないものの環境意識の向上により目標を達成できた。
LPG使用量削減	125.6	○	100.0	○	280.0	○	0.0	×	-	-	0.0	×	168.5	○	生コン工場が電気給湯器に入替を行いLPG使用が無くなった。大梅工場は売上げの減少により削減、橋内工場はこまめな温度調整等により削減された。上台工場・業務・堀川工場は使用が無いため3工場での評価とし、達成率168.5%で目標達成できた。上台工場・業務は次年度以降の目標から削除を検討する。
ガソリン使用量削減	180.3	○	100.8	○	136.4	○	124.1	○	-	-	100.0	○	128.3	○	売上げの減少とエコドライブの実施により削減された。
軽油使用量削減	132.8	○	129.9	○	133.3	○	102.7	○	-	-	37.8	×	107.3	○	売上げの減少により、目標値を達成することができた。
A重油使用量削減	246.1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	×	246.1	○	アスファルト合材の売上げ減少により目標値を達成することが出来た。 大梅工場以外はA重油の使用が無いため次年度以降は項目削除を検討する。
LSA重油使用量削減	-	-	1,758.1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1,758.1	○	生コン工場の売上げが減少したことにより目標を達成できた。
一般廃棄物 排出量削減	98.3	○	104.0	○	80.2	△	517.2	○	0.0	×	85.8	△	177.1	○	上台工場が大幅に減少したこと、廃棄物削減の意識向上により削減できた。全体的に80%を超えほぼ目標を達成できた。堀川工場は上台工場と併せて排出しているため集計していなかった。
自社産業廃棄物 排出量削減	81.1	△	-	-	100.0	○	0.0	×	0.0	×	0.0	×	90.5	○	大梅工場は木くずやガレキ類が排出されたため基準年度比で目標を達成できなかったが、大梅工場と橋内工場の2工場平均達成率は90.5%となりほぼ目標を達成できた。上台工場・業務は基準年に排出量が0だった為、次年度は実績年の値を基準に目標を設定する。堀川工場は上台工場と併せて排出しているため堀川工場単体で集計はしていなかった。
水使用量 削減	116.1	○	0.0	×	-	-	64.2	×	99.0	○	91.9	○	92.8	○	生コン工場は地下水利用のため生コン工場を抜いて全体平均92.8%となりほぼ目標を達成することができた。大梅工場は節水を心掛け目標を達成。上台工場は従業員の増加により目標達成できなかった。業務は目標を達成できたが看板洗浄時に水を使用する為、節水を励行していく。堀川工場は使用量が少ないため今後とも使用量が増加しないよう節水を励行する。
ガス使用量削減	-	-	-	-	287.0	○	-	-	-	-	-	-	287.0	○	こまめな温度調整をするなど環境意識の向上により目標を達成できた。
化学物質 購入量	94.6	○	389.1	○	180.9	○	0.0	×	-	-	-	-	221.5	○	大梅工場は汚泥処理に使用する固化材の購入量が増加したが、生コン工場・橋内工場が削減したため目標を達成できた。上台工場は期間中の購入量が0だったため、3工場の平均で221.5%と大幅に目標を達成することができた。
グリーン購入品 目数増加	183.3	○	25.0	×	125.0	○	0.0	×	0.0	×	0.0	×	111.1	○	各工場とも環境に配慮した商品の購入に努めることが出来た。3工場平均で111.1%と目標達成できた。上台工場・業務・堀川工場は今後集計する。
受託した産業廃棄物の 再資源化率向上（※）	99.5	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99.5	○	目標達成率100%とはならなかったが高い水準で再資源化することが出来た。
車両の燃費 向上（※）	81.4	△	118.6	○	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	○	大梅工場は目標値に届かなかったが、生コン工場は目標を達成したため全体的に目標達成することができた。
生産量の 向上（※）	-	-	-	-	86.4	△	-	-	-	-	-	-	86.4	△	橋内工場において、目標達成はできなかったが、売上高に対しては大型のコーンクラッシャーに入替を行ったことで生産量が増加した。
端材（小径木）の商 品化（※）	-	-	-	-	-	-	0.0	×	-	-	-	-	0.0	×	次年度より集計する。
端材再利用料の向上 （※）	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	×	-	-	0.0	×	次年度より集計する。
看板の再利用（※）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	×	0.0	×	次年度より集計する。
地域貢献活動協力	100.0	○	100.0	○	100.0	○	0.0	×	0.0	×	0.0	×	100.0	○	社内CSR活動や関連企業との奉仕活動に積極的に参加した。 上台工場・業務・堀川工場は期間内に実施が無かったため、3工場平均で100%と目標達成できた。
5S活動の実施	100.0	○	100.0	○	100.0	○	100.0	○	100.0	○	100.0	○	100.0	○	全部門とも赤札作戦を実施し事務所内・工場内・倉庫内の不要物の廃棄及び整理整頓を行った。

達成率100%以上	○
達成率90%以上から100%未満*1)	○
達成率70%以上から90%未満	△
達成率70%未満	×

\*排出量が0.0の項目については全体評価の目標基準達成率算出に算入していません。

## 9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

No	適用される環境関連法規	遵守(○)
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
2	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	○
3	公害防止組織法	○
4	騒音規制法	○
5	浄化槽法	○
6	大気汚染防止法	○
7	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
8	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	○
9	労働安全衛生法	○
10	消防法(危険物取扱い部分)	○
11	特定家庭用機器再商品化法	○
12	使用済自動車の再資源化等に関する法律	○
13	国等による環境物品等の調達の推進に関する法律	○
14	特定特殊自動車排ガスの規制等に関する法律	○
15	採石法	○
16	森林法	○
17	火薬類取締法	○
18	じん肺法	○
19	福島県生活環境の保全等に関する条例	○
20	白河地方広域市町村圏整備組合火災予防条例	○

### (1) 遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守され違反もありませんでした。

### (2) 違反及び、訴訟の有無について

関係機関及び工場近隣からの違反の指摘、訴訟等もなく、是正処理に至る問題はありませんでした。

## 10. 代表者の全体評価及び見直し

弊社は、大梅工場、生コン工場、俵内(砕石)工場、ガソリンスタンドや書店など部門が多岐に渡っております。そのため、2022年10月から環境負荷が高い産業廃棄物の収集運搬及び、中間処理業を行っている大梅工場からエコアクション21の取得に向けて活動し、2023年度は生コン工場と俵内工場、今年度は上台工場、堀川工場、業務(資材・リース)に拡大し活動してきました。

公共事業の減少や燃料・原材料の高騰等による物価高のあおりを受け会社全体の売上げに大きな影響が出ています。価格転嫁を進め徐々に浸透してきていますが、自社にも顧客にも負担増となり売上げ減少に拍車をかけている状況です。

従業員一人一人が環境に対する取り組みを行っておりますが、全体を通して売上げが減少したことにより目標を達成することが出来ました。

産業廃棄物中間処理については、再資源化率の目標(99%以上)には届かなかったものの、98.5%と高い水準とすることが出来ました。

車両の燃費向上については、売上の減少に起因するところが大きいですが、生コン工場・大梅工場共に燃料の使用量が減少しました。引き続き車両のメンテナンスを定期的に行い、エコドライブを実践することで、燃費の向上に取り組めます。

俵内工場においては、新型のコーンクラッシャーへの入替を行ったことにより、メンテナンスや故障の対応負荷も軽減しました。売上げの減少により生産量自体は減少しましたが、売上げに対する生産量は増加しました。

上台工場・堀川工場・業務については、次年度よりそれぞれの項目を集計し廃棄物の再利用又は有効活用に繋げていきます。

さらに、社内CSR活動及び、関連会社や地域のイベントに積極的に参加し、環境配慮の理解を深め、環境の整備、地域活性化に努めています。

今年度は、試験的に本社2階の窓ガラスに冷暖ガラスシールドの施工を行いました。夏季・冬季のエアコンの使用を抑制し、一定の効果が確認されたら他の事業所にも広げていく予定です。

今回、大梅工場、生コン工場、俵内工場は1年間の取組み、上台工場、堀川工場、業務(資材・リース)は、暫定期間(3ヶ月)の取組みとなりました。新しく集計を始めた項目を使用し、その集計を基に今後は環境経営目標を設定し、活動内容を見直し継続していきます。さらに、他の部門にも活動を広げ、来年度には対象範囲を全部門に拡大していきます。全従業員と共に環境資源を有効に活用し、環境に優しい企業を目指して取り組んでいきます。

## 11 今年度の評価を踏まえた次年度環境経営目標及び環境経営計画

















### (1) 次年度 環境経営目標

#### I. 大梅工場

##### (1). 中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2021年度 (R3.10～ R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2025年度 (R7.4～R8.3)	2026年度 (R8.4～R9.3)	2027年度 (R9.4～R10.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	1,125,218	1%	2,161,760	2,140,142	2,118,741
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	7,320	1%	14,697	14,550	14,404
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	345	1%	663	656	650
4	化学物質購入量削減(kg/年)	71,903	1%	138,139	136,758	135,390
5	グリーン購入品増加(品/年)	0	2アイテム増	8	10	12
6	運搬車両における環境配慮 軽油使用量削減(L/年)	23,685	1%	45,503	45,048	44,598
	事業活動における環境配慮項目 再資源化率の向上(%)	87.6	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上

##### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年度実績) (R3.10～ R4.3)	削減率 (%、件数)	2025年度 環境経営目標 (R7.4～R8.3)
1	二酸化炭素排出量	1,125,218	1%	2,161,760
	 (1) 電力排出量	279,879	1%	537,702
	 (2) 灯油排出量	2,891	1%	5,554
	 (3) LPG排出量	369	1%	710
	(4) ガソリン排出量	4,303	1%	8,267
	(5) 軽油排出量	274,095	1%	526,589
	(6) A重油排出量	563,680	1%	1,082,938
2	自社廃棄物排出量	 一般廃棄物	1%	634
		産業廃棄物	1%	14,063
3	水使用量	  	1%	663
4	化学物質購入量	  	1%	138,139
5	グリーン購入の推進	  	2アイテム増	8
6	受託した産物の収集運搬及び製品運搬における環境配慮	燃費管理  	1%	45,503
	事業活動における環境配慮項目	再資源化率の向上 	99%以上	99%以上

※二酸化炭素排出係数：0.458 t-CO<sub>2</sub>/kWh（(株)V-Power） R4.1.7 公表値（調整後排出係数）

※一般廃棄物排出量は、2022年度の326.6kg/半年から年1%削減で設定しました。

##### (3) 本年度自主設定環境経営目標






環境経営目標項目	取組期間（R7.4～R8.3）目標	中長期目標（3年）
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施

## II. 生コン工場

### (1). 中長期目標

No	環境経営 目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2021年度 (R4. 1~R4. 3)	年率(%) 年件数(件)	2025年度 (R7. 4~R8. 3)	2026年度 (R8. 4~R9. 3)	2027年度 (R9. 4~R10. 3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	112,441	1%	436,406	432,042	427,721
2	廃棄物排出量削減(kg/年)	—	1%	692	685	679
3	化学物質購入量削減(kg/年)	25,350	1%	98,388	97,404	96,430
4	グリーン購入品増加(品/年)	—	2アイテム増	6	8	10
5	事業活動における環境配慮項目 軽油使用量削減(L/年)	18,971	0.5%	74,750	74,376	74,004

### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021 年度実績) (R4. 1~R4. 3)	削減率 (%、件数)	2025年度 環境経営目標 (R7. 4~R8. 3)	
1	二酸化炭素排出量	112,441	1%	436,406	
		(1) 電力排出量	23,706	1%	92,008
		(2) 灯油排出量	1,384	1%	5,373
		(3) ガソリン排出量	2,030	1%	7,879
		(4) 軽油排出量	73,532	1%	285,394
		(5) LSA重油排出量	11,789	1%	45,753
2		一般廃棄物	—	1%	346
		産業廃棄物	—	1%	347
3		化学物質購入量	25,350	1%	98,388
4		グリーン購入の推進	—	2アイテム増	6
5		製品運搬における環境配慮 燃費管理	18,971	0.5%	74,750

※二酸化炭素排出係数：0.458 t-CO2/kWh（(株)V-Power）及び0.457 t-CO2/kWh（東北電力(株)） R4.1.7 公表値(調整後排出係数)

※一般廃棄物排出量は、2023年度の89.1kg/3ヶ月から年1%削減で設定しました。

※産業廃棄物排出量は、2024年度の350kg/年から年1%削減で設定しました。

### (3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間（R7. 4~R8. 3）目標	中長期目標（3年）
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施

### III. 俵内工場

#### (1). 中長期目標

No	環境経営 目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）			
		2021年度 (R4. 1~R4. 3)	年率(%) 年件数(件)	2025年度 (R7. 4~R8. 3)	2026年度 (R8. 4~R9. 3)	2027年度 (R9. 4~R10. 3)	
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	313,641	1%	1,217,302	1,205,129	1,193,077	
2	廃棄物排出量削減(kg/年)	875	1%	3,918	3,879	3,840	
3	ガス使用量削減(kg/年)	20	現状維持	81	81	81	
4	化学物質購入量削減(kg/年)	993	1%	3,856	3,817	3,779	
5	グリーン購入品増加(品/年)	-	2アイテム増	6	8	10	
6	事業活動における環境配慮項目	生産量の向上(t/年)	72,225	1%増	297,654	300,630	303,637

#### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021 年度実績) (R4. 1~R4. 3)	削減率 (%、件数)	2025年度 環境経営目標 (R7. 4~R8. 3)		
1	二酸化炭素排出量	313,641	1%	1,217,302		
		(1) 電力排出量	97,145	1%	377,037	
		(2) 灯油排出量	1,143	1%	4,436	
		(3) LPG排出量	60.43	1%	235	
		(4) ガソリン排出量	1,153	1%	4,475	
		(5) 軽油排出量	214,140	1%	831,119	
2		一般廃棄物	-	1%	522	
		産業廃棄物	875	1%	3,396	
3		ガス使用量	20	現状維持	81	
4		化学物質購入量	993	1%	3,856	
5		グリーン購入の推進	-	2アイテム増	6	
6		事業活動における環境配慮項目	生産量の向上(t/年)	72,225	1%増	297,654

※二酸化炭素排出係数：0.458 t-CO2/kWh（(株)V-Power） R4.1.7 公表値（調整後排出係数）

※一般廃棄物排出量は、2023年度の133.19kg/3ヶ月から年1%削減で設定しました。

#### (3) 本年度自主設定環境経営目標
















環境経営目標項目	取組期間（R7. 4~R8. 3）目標	中長期目標（3年）
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施

#### IV. 上台工場

##### (1). 中長期目標

No	環境経営 目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2023年度 (R6. 1～R6. 3)	年率(%) 年件数(件)	2025年度 (R7. 4～R8. 3)	2026年度 (R8. 4～R9. 3)	2027年度 (R9. 4～R10. 3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	41,962	1%	164,508	162,863	161,234
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	106	1%	1,802	1,784	1,766
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	35	1%	137	136	134
4	化学物質購入量削減(kg/年)	0	1%	31.7	31.4	31.0
5	グリーン購入品増加(品/年)	—	2アイテム増	4	6	8
6	事業活動における環境配慮項目	—	1アイテム増	2	3	4

##### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2023 年度実績) (R6. 1～R6. 3)	削減率 (%、件数)	2025年度 環境経営目標 (R7. 4～R8. 3)		
1	二酸化炭素排出量	41,963	1%	164,510		
	 (1) 電力排出量	32,328	1%	126,739		
	 (2) 灯油排出量	966	1%	3,788		
	 (3) ガソリン排出量	369	1%	1,446		
	(4) 軽油排出量	8,300	1%	32,538		
2	自社廃棄物排出量	 一般廃棄物	106	1%	416	
		産業廃棄物	—	1%	1,386	
3	水使用量	  	35	1%	137	
4	化学物質購入量	  	—	1%	31.7	
5	グリーン購入の推進	  	—	2アイテム増	4	
6	事業活動における環境配慮項目	端材（小径木）の商品化	 	—	1アイテム増	2

※二酸化炭素排出係数：0.458 t-CO2/kWh（(株)V-Power）及び0.457 t-CO2/kWh（東北電力(株)） R4.1.7 公表値(調整後排出係数)

※産業廃棄物排出量は、2024年度の350kg/3ヶ月から年1%削減で設定しました。

※化学物質排出量は、2024年度の8kg/3ヶ月から年1%削減で設定しました。

##### (3) 本年度自主設定環境経営目標






環境経営目標項目	取組期間（R7. 4～R8. 3）目標	中長期目標（3年）
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施

## V. 堀川工場

### (1). 中長期目標

No	環境経営 目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2023年度 (R6.1~R6.3)	年率(%) 年件数(件)	2025年度 (R7.4~R8.3)	2026年度 (R8.4~R9.3)	2027年度 (R9.4~R10.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	2,025	1%	7,939	7,859	7,781
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	—	1%	計量する	計量する	計量する
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	2	現状維持	2	2	2
4	グリーン購入品増加(品/年)	—	2アイテム増	4	6	8
5	事業活動における環境配慮項目 端材再利用量の向上	—	1%	計量する	計量する	計量する

### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2023 年度実績) (R6.1~R6.3)	削減率 (%、件数)	2025年度 環境経営目標 (R7.4~R8.3)	
1	二酸化炭素排出量	2,025	1%	7,940	
	 (1) 電力排出量	1,846	1%	7,237	
	(2) 灯油排出量	179	1%	703	
2	自社廃棄物排出量	 一般廃棄物	0	1%	0
		産業廃棄物	0	1%	0
3	水使用量	 2	現状維持	2	
4	グリーン購入の推進	 —	2アイテム増	4	
5	事業活動における環境配慮項目 端材再利用量の向上	 —	1%	計量する	

※二酸化炭素排出係数：0.457 t-CO<sub>2</sub>/kWh（東北電力(株)） R4.1.7 公表値(調整後排出係数)

### (3) 本年度自主設定環境経営目標












環境経営目標項目	取組期間（R7.4~R8.3）目標	中長期目標（3年）
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施

## VI. 業務（資材・リース）

### (1). 中長期目標

No	環境経営 目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2023年度 (R6. 1～R6. 3)	年率(%) 年件数(件)	2025年度 (R7. 4～R8. 3)	2026年度 (R8. 4～R9. 3)	2027年度 (R9. 4～R10. 3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	1,316	1%	5,159	5,108	5,057
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	24.7	1%	2,869	2,840	2,812
3	水使用量削減(m <sup>3</sup> /年)	13	1%	51	50.46	49.95
4	グリーン購入品増加(品/年)	—	2アイテム増	4	6	8
5	事業活動における環境配慮項目	看板の再利用	1アイテム増	計量する	計量する	計量する

### (2). 単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2023 年度実績) (R6. 1～R6. 3)	削減率 (%、件数)	2025年度 環境経営目標 (R7. 4～R8. 3)			
1	二酸化炭素排出量	1,316	1%	5,160			
	 11 住み続けられるまちづくりを	(1) 電力排出量	885	1%	3,470		
	 13 気候変動に具体的な対策を	(2) 灯油排出量	188	1%	738		
	 15 陸の豊かさを保つ	(3) ガソリン排出量	84	1%	328		
		(4) 軽油排出量	159	1%	624		
2	自社廃棄物排出量	 12 つくる責任 つかう責任	一般廃棄物	24.7	1%	96.8	
			産業廃棄物	—	1%	2,772	
3	水使用量	 6 安全な水と衛生	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさを保つ	13	1%	51
4	グリーン購入の推進	 12 つくる責任 つかう責任	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさを保つ	—	2アイテム増	4
5	事業活動における環境配慮項目	看板の再利用	 12 つくる責任 つかう責任	—	1アイテム増	計量する	

※二酸化炭素排出係数：0.457 t-CO<sub>2</sub>/kWh（東北電力(株)） R4.1.7 公表値(調整後排出係数)

※産業廃棄物排出量は、2024年度の700kg/3ヶ月から年1%削減で設定しました。

### (3) 本年度自主設定環境経営目標







環境経営目標項目	取組期間（R7. 4～R8. 3）目標	中長期目標（3年）
5S活動の実施	定期的に5S推進委員会を開催し、赤札による整理整頓を行う	年1回の赤札作戦の実施
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施

(2) 次年度 環境経営計画

I. 大梅工場

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		緑川	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	2025～
			緑川	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			緑川	普段使用しない機器の電源を抜いておく	通年
			緑川	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年
			緑川	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			緑川	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの利用）	通年
			部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	年2回
	ガス使用の削減		緑川	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日
	エコドライブの実施		大森	エコドライブ教育研修に参加	8月
			大森	日常点検の実施	毎日
			大森	アイドリング時間の削減	通年
			大森	急発進、急加速はしない	通年
			大森	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
			緑川	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	毎日
	A重油使用の削減		部門長	水切り骨材の優先使用	雨天時
			部門長	ストックヤードのシート掛けの励行	雨天時
			部門長	連続運転の励行（着火回数の低減）	通年
	 の削減（自社）	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木	分別の徹底と保管
鈴木				廃棄物置場の整理	通年
一般廃棄物		ゴミの削減	緑川	コピー数量の削減	通年
			緑川	文書の電子化の推進	通年
			緑川	OA紙の資源化（回収サービスの利用等）	通年
			緑川	分別の徹底	通年
			緑川	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
 の総削減量	水道使用量の削減	中村部長	洗車時の自動水栓弁の取り付け	2026.3	
	中水の利用	部門長	循環水システムの工夫	通年	
	地下水・雨水の利用	部門長	利用目的（消雪・散水）に応じた効率的な使用	通年	
 化学物質の削減	化学物質の削減	和知	化学物質の代替品への移行	通年	
	化学物質のSDS管理	和知	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年	
	化学物質有害性把握	和知	揮発性有機溶剤の削減	通年	
 のング推奨！	環境負荷低減		緑川	グリーン購入品目の集計	通年
			緑川	エコマーク品の購入推進	通年
 本業の環境配慮	再資源化率向上	緑川	年間の再資源化率の集計	2022.11～	
	資源の有効利用	鈴木	中間処理における待機動力の削減	通年	
	燃費向上	鈴木	燃費管理の実施	毎日	
	緑化活動	生田目	敷地内植樹（グリーンカーテン等）の実施	年1回	
 地域貢献活動	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	年3回
			部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年
 活動S	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日
			部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回

## II. 生コ工場

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減		鈴木	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善（間引き及びブルダウンスイッチ他更新）	2025.3
			鈴木	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			鈴木	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年
			鈴木	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			鈴木	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設定）	2025.3
			部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	年2回
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	8月
			小濃	日常点検の実施	毎日
			小濃	アイドリング時間の削減	通年
			小濃	急発進、急加速はしない	通年
			小濃	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
			小濃	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	毎日
LSA重油使用の削減		部門長	ボイラー稼働時間の短縮	冬期	
廃棄物排出量の削減（自社） 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	牧野	分別の徹底と保管	通年
			牧野	分別方法を判りやすく掲示	2024.9
			牧野	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	鈴木	コピー数量の削減	通年
			鈴木	OA紙の資源化	通年
			鈴木	分別の徹底	通年
			鈴木	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
	化学物質の削減 	化学物質の削減		垂石	化学物質の代替品への移行
化学物質のSDS管理		垂石	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年	
環境負荷低減 	環境負荷低減		鈴木	グリーン購入品目の集計	通年
			鈴木	エコマーク品の購入推進	通年
燃費向上 	燃費向上		小濃	ミキサー車の燃費管理の実施	毎日
	地域・社会貢献活動 	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加
部門長				各種環境イベントへの積極的参加	通年
5S活動 	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日
			部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回

### III. 俵内工場

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
二酸化炭素排出量の削減   	電力使用の削減		宗田	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善（間引き及びブルダウンスイッチ他更新）	2025. 3
			鈴木(美)	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			鈴木(美)	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年
			宗田	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			宗田	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設置）	2025. 3
			部門長	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	年2回
	ガス使用の削減		鈴木(美)	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日
			部門長	ガス使用の見直し	年2回
	エコドライブの実施		部門長	エコドライブ教育研修に参加	8月
			中郡	日常点検の実施	毎日
			和知	アイドリング時間の削減	通年
			和知	急発進、急加速はしない	通年
			和知	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
			工藤	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	毎日
廃棄物排出量の削減（自社） 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	宗田	分別の徹底と保管	通年
			宗田	分別方法を判りやすく掲示	2024. 9
			宗田	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	宗田	コピー数量の削減	通年
			宗田	OA紙の資源化	通年
			宗田	分別の徹底	通年
			中郡	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
 化学物質の削減 	化学物質の削減		工藤	化学物質の代替品への移行	通年
	化学物質のSDS管理		工藤	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年
 グリーン購入の推進 	環境負荷低減		鈴木(美)	グリーン購入品目の集計	通年
			鈴木(美)	エコマーク品の購入推進	通年
 環境の本質 	生産量向上	作業工程の見直し	部門長	作業の見直しを図り、改善策を講じる	年3回
	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	年3回
 地域貢献活動			部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年
	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日
			部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回

#### IV. 上台工場

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		垂石	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	2026. 3
			垂石	0A機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			垂石	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年
			部門長	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			垂石	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設置）	2026. 3
	燃料の削減		部門長	木質ペレット規格外製品の燃料化	通年
			エコドライブの実施		部門長
	出島	日常点検の実施			毎日
	出島	アイドリング時間の削減			通年
	出島	急発進・急加速はしない			通年
	出島	タイヤの空気圧を定期的に調整する			毎月
部門長	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	毎日			
 廃棄物排出量の削減（自社）	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木万	分別の徹底と保管	通年
			鈴木万	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	垂石	コピー数量の削減	通年
			垂石	0A紙の資源化	通年
			出島	分別の徹底	通年
			垂石	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
 総水量の削減	水道使用量の削減		高橋	節水の励行	通年
	中水の利用		部門長	循環水システムの工夫	通年
	地下水・雨水の利用		部門長	利用目的に応じた効率的な使用（おが粉乾燥に利用）	通年
 化学物質使用量の削減	化学物質の削減		部門長	環境配慮製品への移行	通年
	化学物質のSDS管理		部門長	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年
 グリーン購入の推進	環境負荷低減		垂石	グリーン購入品目の集計	通年
			垂石	エコマーク品の購入推進	通年
 本業の環境配慮	端材の再利用		部門長	小径木の商品化	通年
	 地域貢献活動	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加
部門長				各種環境イベントへの積極的参加	通年
 5S活動	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日
			部門長	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回

## V. 堀川工場

環境経営目標	環境経営計画	担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度	
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減	市本	不要照明の消灯	通年	
		部門長	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	2026.3	
		市本	0A機器・家電製品の待機電力の削減	通年	
		市本	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年	
		市本	冷暖房機器フィルター清掃	年2回	
		市本	各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	年2回	
 廃棄物排出量の削減（自社）	一般廃棄物	ゴミの削減	市本	コピー数量の削減	通年
			市本	0A紙の資源化	通年
			市本	分別の徹底	通年
			市本	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
 総水量の削減	水道使用量の削減	市本	こまめな節水	通年	
 グリーン購入の推進	環境負荷低減	垂石	グリーン購入品目の集計	通年	
		垂石	エコマーク品の購入推進	通年	
 本業の環境配慮	端材再利用量の向上	部門長	商品開発	毎日	
 地域社会への貢献活動	地域・社会貢献活動	部門長	地域清掃活動への参加	年3回	
		部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年	
5S活動	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動	市本	整理・整頓・清掃を行う	毎日	
		市本	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回	

## VI. 業務（資材・リース）

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		関根	不要照明の消灯	通年
			須藤	照明器具の改善（蛍光灯をLED灯に更新）	2026.3
			関根	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			関根	冷暖房の温度管理（冬20℃、夏28℃）	通年
			須藤	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			関根	冷暖房の上下温度差解消（サーキュレーターの設置）	2026.3
	エコドライブの実施		須藤	エコドライブ教育研修に参加	8月
			須藤	日常点検の実施	毎日
			須藤	アイドリング時間の削減	通年
			須藤	急発進、急加速はしない	通年
			須藤	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
			須藤	燃費管理の実践（走行距離数/燃料消費量）	毎日
 の削減（自社） 廃棄物排出量	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	須藤	分別の徹底と保管	通年
			須藤	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	関根	コピー数量の削減	通年
			関根	OA紙の資源化	通年
			関根	分別の徹底	通年
関根	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年			
 の総削減 削減 水量	水道使用量の削減		関根	こまめな節水	通年
			関根	看板洗浄時の作業工程の見直し	
 購入の推進 グリーン 環境負荷低減	環境負荷低減		関根	グリーン購入品目の集計	通年
			関根	エコマーク品の購入推進	通年
 配環境 本業の 配慮	廃棄看板の再利用		須藤	他部署での再利用呼びかけ	通年
 地域 社会 活動 貢献	地域・社会貢献活動		関根	地域清掃活動への参加	年3回
			須藤	各種環境イベントへの積極的参加	通年
活5 動S	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動		須藤	整理・整頓・清掃を行う	毎日
			須藤	赤札作戦（要・不要の仕分け）の実施	年1回